感動をデザインします
TWINBIRD

家庭用

防水ワイヤレステレビ

VW−J108
取扱説明書

はじめに
テレビを見る
設定・確認
こんなときは

このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
■この取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
■この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
■本製品には「mini B-CAS カード」が付属しており、mini B-CAS カードに「B-CAS カード使用許諾契約約款」が添付されておりますのでご確認ください。
■本製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。
■本製品に故障が発生したときは、販売店にご連絡ください。

Li-ion00

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ず記入をお受けください。

VW-J108

こんなことができます

テレビを見る
地上デジタル放送を視聴

20ページ

アンテナケーブルが届かない部屋でも、お風呂でも地上デジタル放送の番組が楽しめます。

お風呂で楽しむ
防水仕様

8ページ

WIRELESS ZABADY の防水性能は「JIS IPX7※」相当。
（※ 8 ページ）

よくあるご質問
すぐに調べたいことはこちらから！

受信できない。
▶ 16・38ページ

リモコンで操作できない。
▶ 14ページ

字幕が消えない(出ない)。
▶ 36ページ

画質を変更したい。
▶ 42ページ

音量を変えたい。
▶ 31ページ

はじめに

テレビを見る

設定・確認

こんなときは

安全上のご注意 必ずお守りください

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

⚠ 危険	「死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。
⚠ 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。

■ 図記号の説明

禁　止
分解禁止
ぬれ手禁止
水ぬれ禁止

は、してはいけない「禁止」の内容です。

強　制
プラグを抜く

は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

バッテリーパック（防水モニターに内蔵）について

⚠ 危険

禁　止	**専用のバッテリーパック以外は使用しない。** バッテリーパックは本製品以外に接続したり、使用したりしないでください。 液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
禁　止	**火の中に投入したり加熱しない。** 電解液が吹き出したり破裂する原因になります。
禁　止	**端子部を針金などの金属で接続したり、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。** 電極がショートすると破裂、発火の恐れがあります。
禁　止	**取り出したバッテリーパックは充電しない。** 破裂、火災の原因になります。
禁　止	**バッテリーパックの分解や改造をしない。** 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
禁　止	**電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。** 液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、必要なときは医師に相談してください。
禁　止	**強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。** 液漏れ、発熱の原因になります。

⚠ 警告

水ぬれ禁止	**水や海水につけたり、ぬらしたりしない。** ショートや発熱により火災、感電の原因になります。
禁　止	**バッテリーパックを誤った方法で取り付けない。** 事故や故障・破裂・発火・けがの原因になります。
強　制	**バッテリーパックの交換、製品の廃棄時以外は、バッテリーパックを取り出さない。** 事故や故障、破裂・発火・けがの原因になります。

⚠ 注意

禁　止	**火のそばや直射日光にあたるところなど、高温の場所での使用、保管、放置をしない。**
強　制	**製品の廃棄時に取り出した使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルへご協力ください。バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。**

防水リモコン用電池について

⚠ 警告

水ぬれ禁止	**水や海水につけたり、ぬらしたりしない。** ショートや発熱により火災・感電の原因になります。
強　制	**下記のことを必ずお守りください。液漏れ、発熱、発火、故障などの恐れがあります。** • もし、液漏れしたときは、リモコン内の液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。 • 火の中に入れたり、ショートさせたり、分解、加熱しない。 • 充電しない。(本製品に充電機能はありません。) • 極性⊕⊖に注意し、指示通りに入れる。 • 使い切った電池や長い間(2週間以上)使用しないときは、電池を取り出す。 • 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。 • 指定された電池を使用する。

⚠ 注意

強　制	**廃棄の際は、各市町村の指示(条例)にしたがって処理をする。**

防水モニター・防水リモコンについて

⚠警告

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない。
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

禁　止

使用中は、防水モニターを布団でおおったり、包んだりしない。
熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。

禁　止

長時間直接触れて使用しない。
本製品の温度が高い部分に長時間直接触れていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁　止

乗り物を運転中や歩行中は絶対に使用しない。
交通事故や転倒の原因になります。

禁　止

火気の近くで使用しない。
火災・感電や故障の原因になります。

プラグを抜く

内部に水が入った場合は、電源を切り、ACアダプターを抜き、バッテリーパックをはずす。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

プラグを抜く

煙がでたり、変なにおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターを抜き、バッテリーパックをはずす。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

強　制

浴室、台所などの水まわりでは、必ずバッテリーパックで使用する。
ACアダプターは使用しないでください。感電や故障の原因になります。

強　制

使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターを抜く。
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

強　制

病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。
本製品が出す電波により、航空機内の計器に影響を与える恐れがあります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。

禁止

湿度の高い場所でジャックカバーの開閉は絶対に行わない。ジャックカバーの開閉は十分に水をふき取った後、湿気がなく水がかからない場所で乾いた手で行う。
故障の原因になります。

禁止

風呂場やシャワー室などの湿度の高い場所に長時間放置しない。
故障の原因になります。

禁止

水中に沈めない。
本製品は防水構造ですが、故意に水につけたり、強い水しぶきなどを当てると故障の原因になります。

禁止

自動車内や、直射日光が当たる場所などの温度が高くなる場所に放置しない。
防水モニターや部品に悪い影響を与え、変形や故障・火災の原因になります。

禁止

調理台や加湿器などの油煙や湯気が当たるような場所に置かない。
火災・感電や故障の原因になります。

禁止

防水モニター背面のスピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない。
ラジオ・テレビ・補聴器など（雑音の原因になります。）・キャッシュカード・自動改札用定期券・カセットテープ・時計など（正しく機能しなくなることがあります。）

禁止

ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないように注意する。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。

強制

移動する場合は、ACアダプターやヘッドホンの接続コードをはずす。
コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

禁止

防水モニターの画面を強く押さない。
画面にムラが出たり、故障の原因になります。

禁止

各スイッチは強く押さない。
故障の原因になります。

禁止

上に物を置いたり掛けたりしない。
落下してけがをする恐れがあります。

禁止

本製品をシンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーでは拭かない。
防水モニターが変形・変色し、防水性能が損なわれ、故障・事故・火災・感電の原因になります。

チューナーについて

⚠ 警告

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない。
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

禁止

水場での使用禁止
風呂やシャワー室など、水気や湿気の多い場所で使用や保管をしないでください。
発火・感電・故障の原因になります。
水濡れ禁止
水につけたり、水をっかけたりしないでください。内部に水が入った場合は、電源を切り、ACアダプター（チューナー用）を抜いてください。そのまま使用すると、発火・感電・故障の原因になります。

禁止

チューナーを布団でおおったり、包んだりしない。放熱口をふさがない。
熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。

禁止

雷が鳴り出したら、チューナーには絶対に触れない。
火災や感電の原因になります。

禁止

チューナーを次の場所で使用しない。
●病院の中　●飛行機の中
医療機器や飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

禁止

火気の近くで使用しない。
火災・感電や故障の原因になります。

プラグを抜く

故障や異常のまま、通電しない。
チューナーに異常がある場合は、必ずコンセントからACアダプターを抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

プラグを抜く

煙がでたり、変なにおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターを抜く。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

強制

ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しない。
電波によりペースメーカー等の機器の動作に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

チューナーを踏んだり、上に物を載せない。
故障・破損・ケガの原因になります。

禁止

長時間にわたり触れ続けない。
チューナーを一定時間使用すると、チューナーが熱くなります。
長時間にわたり触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

禁止

直射日光が当たる場所などの温度が高くなる場所に放置しない。
変形や故障・火災の原因になります。

電源について

⚠ 警告

禁 止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない。
たこ足配線等で定格を超えると、発熱・火災の原因になります。

禁 止

使用中は、ACアダプターを布団でおおったり、包んだりしない。
熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。

禁 止

電源コードを傷つけたり、破損させたりしない。
電源コードが破損したまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コードが破損した場合は、お買い上げ販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

禁 止

電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
電源コードが破損し、火災・感電・故障の原因になります。

禁 止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れない。
感電の原因になります。

水ぬれ禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。
感電の原因になります。

強 制

使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。
通電状態で放置、保管すると絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因になることがあります。

強 制

ACアダプターの接続がゆるくなっていないか、コードに傷みがないかなどを定期的に点検する。

強 制

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

強 制

指定された付属の専用ACアダプターを使用する。
専用ACアダプター以外を使用すると、火災や故障の原因になります。

強 制

ACアダプターはコンセントにプラグの根本まで確実に差し込む。

⚠ 注意

禁 止

人が通行する場所に配線しない。
足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

強 制

専用ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。
故障の原因になります。

使用上のお願い

防水について（防水モニター、防水リモコン）

防水モニターと防水リモコンはJIS IPX7＊相当の防水が施されており、風呂場やシャワー室などの水しぶきがかかる場所でもご使用いただけます。以下の点に十分注意してご使用ください。

＊IPX7…定められた条件（1 m、30分）で常温の水道水中に没しても内部に水が入らないもの。

- 水中用ではありませんので、水やお湯の中で使用することはできません。誤って水中に落とした場合はすぐに拾いあげてください。
- 特に石けん、洗剤、入浴剤の入った水やお湯に入れると、防水性能に影響を与える恐れがありますのでご注意ください。
- 多量の水や、強い水しぶきをかけないでください。
- 浴室、台所などの水まわりではジャックカバー、リモコンの電池カバーを開けないでください。ジャックカバー、リモコンの電池カバーが開いた状態では防水になりません。確実に閉まっていることを確認してお使いください。
- ジャックカバーやリモコンの電池カバーの開閉は、水のかかる恐れのない場所に運んでから十分に水気をふき取り、乾いた手で行ってください。
- 使用後は、風呂場やシャワー室などの湿度の高い場所に放置せず、柔らかい布で水気をふき取ってください。
- ジャックカバーやリモコンの電池カバーまわりのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないように注意してください。
- ゴムパッキンに毛髪やゴミなどが付着したときは水がかかる恐れのない場所で、柔らかい布でふき取ってください。

⚠注意

水中で使用したり、浴室、台所などの水まわりでジャックカバー、リモコンの電池カバーが開いた状態で使用すると、内部に水が侵入する恐れがあります。水の侵入による製品の故障については、保証期間内でも無料修理の対象外となりますのでご注意ください。

結露について

次のような場合、製品に結露が発生することがあります。

- 製品が温まった状態で急に寒いところに移動したとき。
- 製品が冷えた状態で急に温かいところに移動したとき。

結露した状態で製品を使用すると、故障の原因になります。使用するところに2〜3時間程度放置して、温度がなじみ結露がとれてからご使用ください。

故障ではありません

- 長時間お使いになっていると防水モニターが多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 防水モニターがチューナーから受信する無線電波の状態によっては、テレビ映像が停止したり、音声が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- 防水モニターの液晶パネルは、表示する色や明るさにより微小な斑点および、むらが見えることがありますが、故障ではありません。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性がありますが、故障ではありません。この場合、別の画面に変えるか、数時間電源を切っておくことで徐々に改善されます。

製品の取り扱いについて

- 液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。
- はじめから音量を上げすぎないようご注意ください。突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げてください。

各部の名称

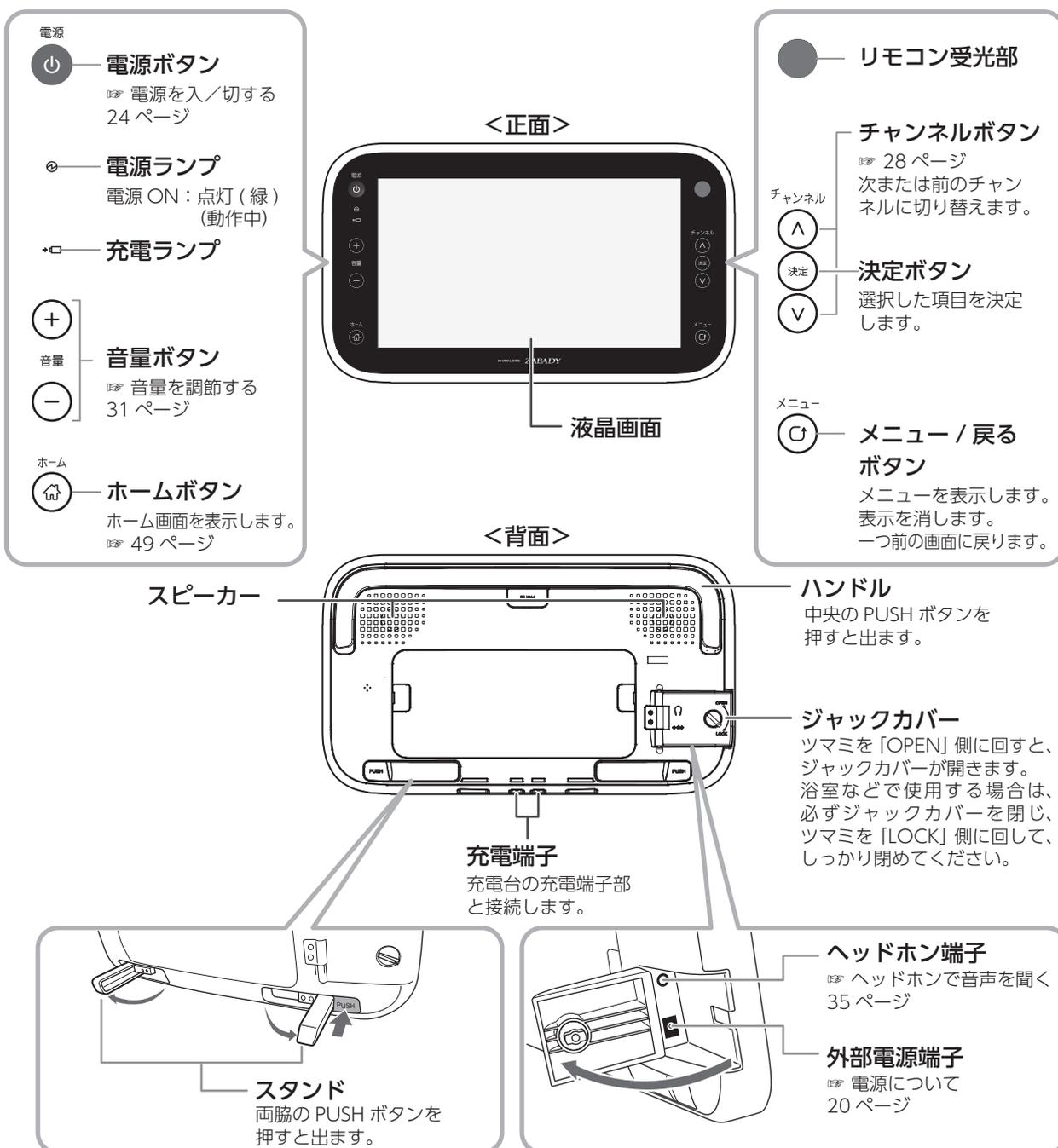
防水モニター

■ タッチセンサー式スイッチについて

防水モニターの操作部は、タッチセンサー式スイッチです (電源ボタン以外)。

- 指の腹で真ん中をしっかりタッチしてください。爪の先でタッチすると反応しない場合があります。
- シャワーや多量の水しぶきがかかると、誤反応する場合があります。
- タッチセンサー式スイッチ部や指が濡れていると、反応が悪くなる場合があります。

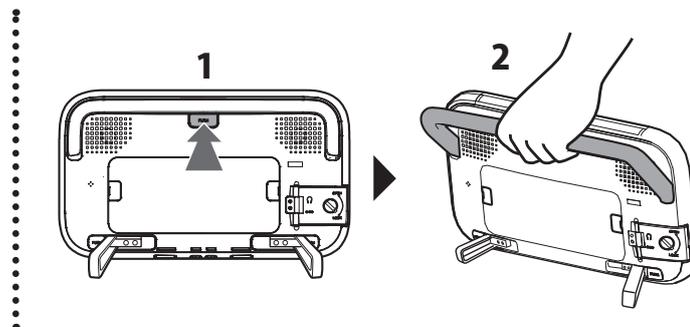
■ 防水モニター

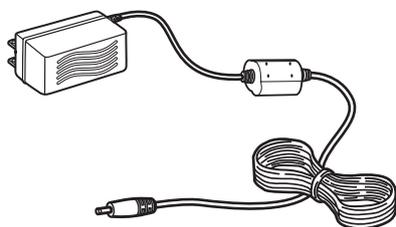
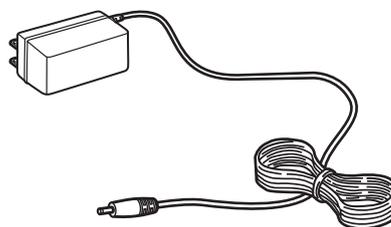
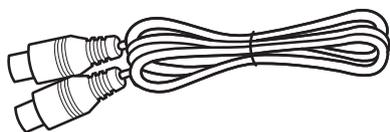
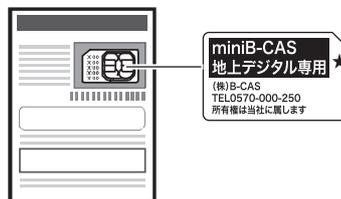
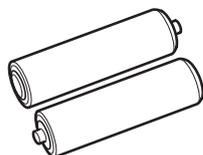
(防水構造 JIS IPX7 相当 ☞ 8 ページ)

■ 防水モニターを持ち運ぶ

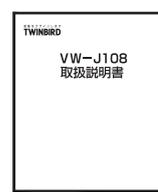
1 防水モニター背面中央のPUSHボタンを押す。

→ハンドルが出ます。

2 ハンドルを持って防水モニターを移動します。

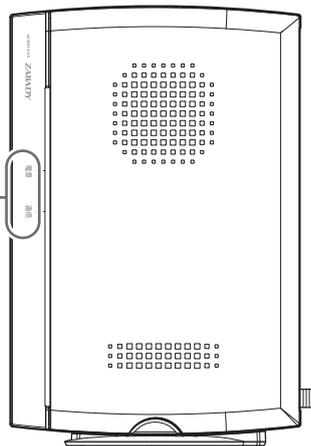
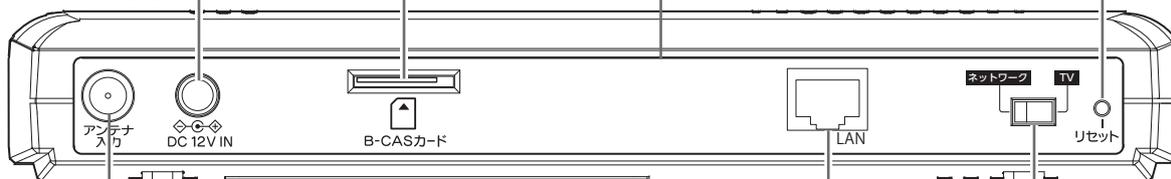
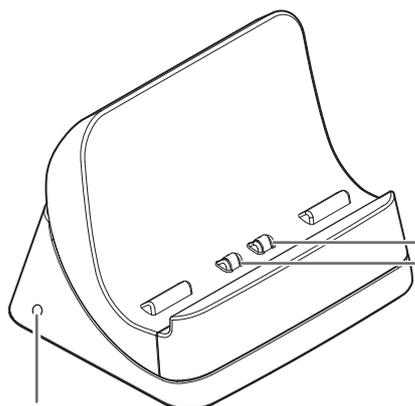
付属品

付属品は防水構造ではありません。
水をかけたり、水につけたり、濡れた手で触れないでください。

■ ACアダプター(防水モニター用) VD-CH38　1個

■ ACアダプター(チューナー用) USL124-1220 1個

■ アンテナケーブル 1本

■ mini B-CASカード※　1枚

■ リモコン用単4形マンガン乾電池（お試し用）2本

■ かんたんガイド1部

■ 取扱説明書（本書）1冊

mini B-CASカードを取り出す前に、台紙の内容をお読みください。開封すると台紙に記載されている使用許諾契約約款に同意したとみなされます。

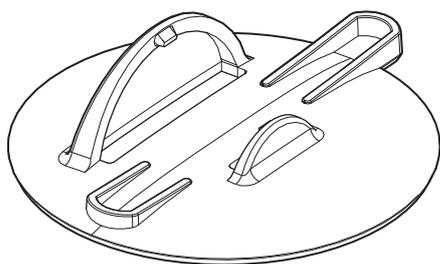
チューナー

禁止
水場での使用禁止 ☞6ページ
水濡れ禁止 ☞6ページ

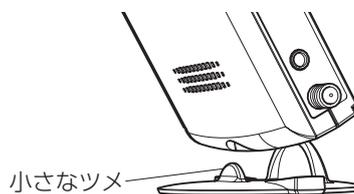
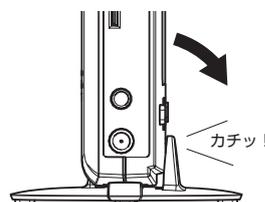
ランプ	状態		
電源	橙	点灯	起動中
	青	点灯	電源ON
通信	緑	点灯	無線通信が有効
		点滅	無線通信と通信中

充電台

防水構造ではありません。
水をかけたり、水につけたり、濡れた手で触れないでください。

☞ 21 ページ

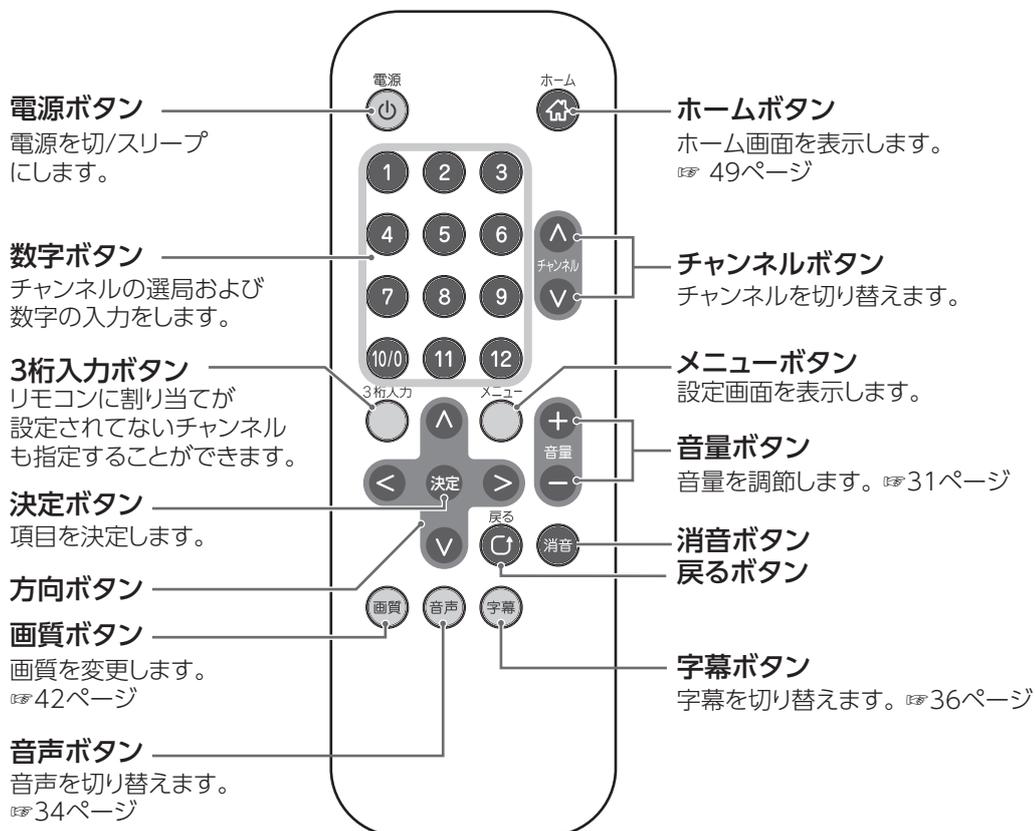
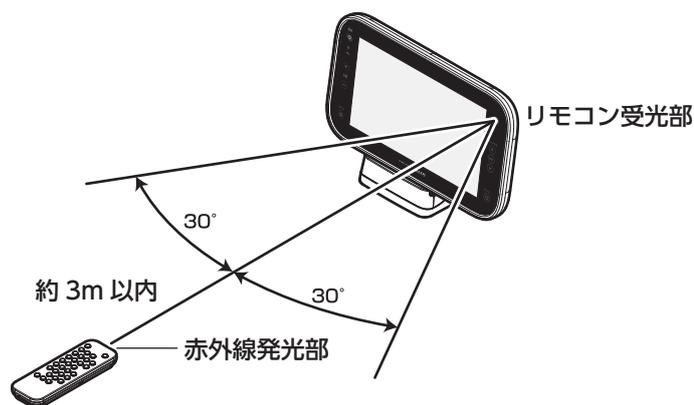
角度の調整方法

充電台に防水モニターをのせたまま、防水モニターを下図のように待ち、角度を調整します。

チューナー縦置きスタンド

チューナーは横置きも、縦置きも可能です。縦置きの場合は、付属のチューナー縦置きスタンドをご使用ください。

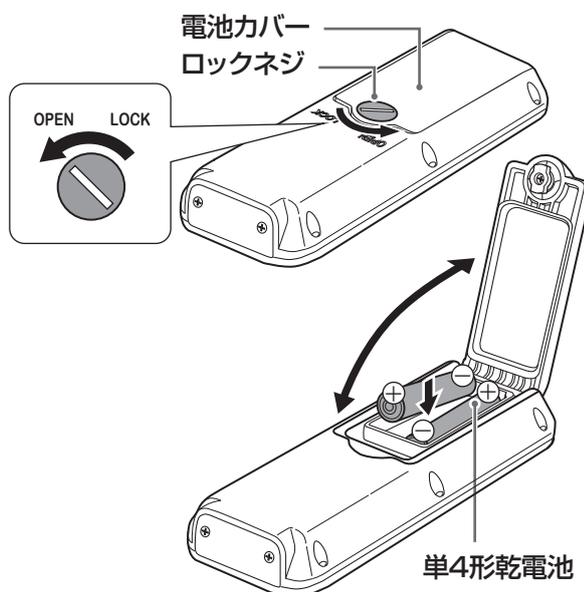
チューナー縦置きスタンドの取付けかた

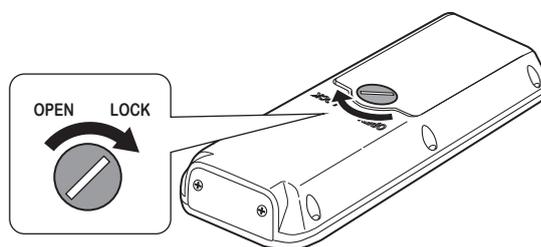
①スタンドの小さなツメにチューナーのくぼみを合わせ、チューナーを斜めに差し込みます。

②チューナーをまっすぐに戻します。カチッと音がしてチューナーが固定されます。

防水リモコン

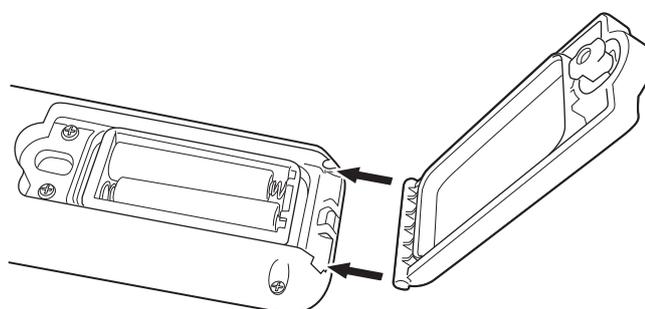
(防水構造 JIS IPX7相当 ☞8ページ)

■ 防水リモコンの使える範囲

⚠注意

- 付属の電池はお試し用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。
- 電池は単4形乾電池を使用してください。
- 不要となった電池を廃棄するときは各自治体の指示(条例)に従ってください。
- リモコンを長期間(2週間程度)使用しないときは、電池を取りはずしてください。リモコン内の電池が液漏れを起こすことがあります。

■ 防水リモコンの電池を入れる

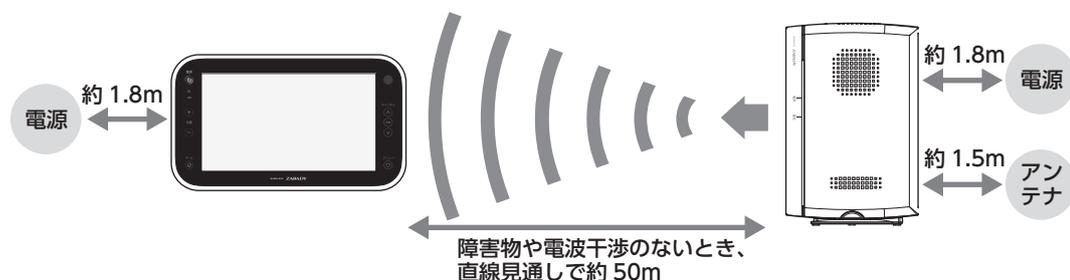
1 電池カバーのロックネジをコイン等で「OPEN」側に回し、電池カバーを開けます。

2 電池を正しい方向にセットします。

3 電池カバーを閉じて、ロックネジを「LOCK」側に回します。

■ 電池カバーの取付け

電池カバーが外れた場合は、右図の要領で、必ず取付けてお使いください。

⚠ 注意

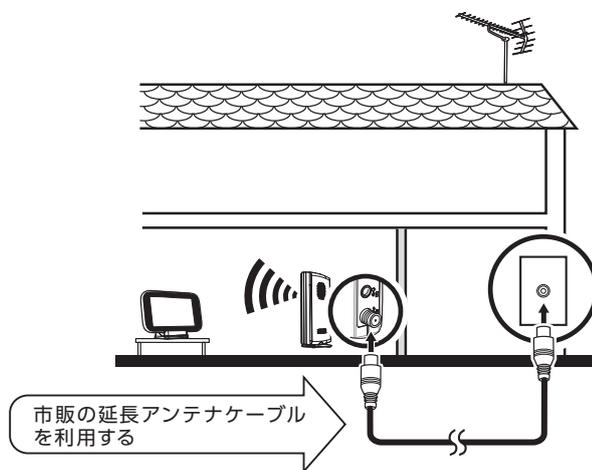
- 電池カバーが開いた状態では防水性能を保てません。電池を入れた後は電池カバーが完全に閉じていることを確認してください。
- リモコンが濡れている状態でカバーを開くと内部に水が入る恐れがありますので、必ず乾いた状態で行ってください。

設置場所について

防水モニターは、チューナーから無線の電波でテレビ映像を受信しています。
下図は、各機器とケーブル類の接続関係と、機器間の直線距離・ケーブルの長さの目安を表しています。

■ チューナーの向きについて

チューナーを縦置きで上図のような向きにして防水モニターに向けるようお奨めします。
通信が安定しやすくなります。

■ 防水モニターとチューナーの距離について

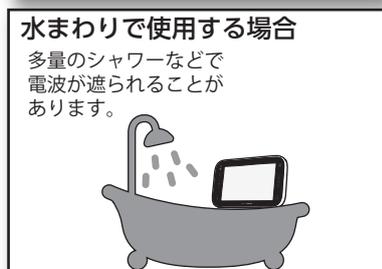
チューナーは防水モニターからできるだけ近い部屋に設置してください。
その部屋にアンテナ端子がない場合は市販の延長アンテナケーブルを利用して延長してください。

■ 同じ周波数帯を使用している機器について

本製品は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を使用しています。
この周波数帯の電波はいろいろな機器で使用されているため、電波の干渉により本製品またはその他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。

<2.4GHz帯の電波を利用する主な機器>
電子レンジ、無線LAN機器、コードレス電話、ワイヤレスAV機器、
Bluetooth対応機器　など。

■ 住宅での設置場所について

防水モニターとチューナーの間に以下のものがあると、電波が届きにくくなり、映像や音声が途切れたり、受信できなくなったりすることがあります。

鉄筋・鉄骨を使用したたてものや構造物、コンクリートやトタン製の壁、金属製の壁・扉・家具、金属箔のついた断熱材、水、人　など。

地上デジタル放送について

受信について

■ アンテナで受信のとき

地上デジタル放送を受信するにはUHF アンテナが必要です。
現在お使いのアンテナがUHF またはUHF/VHF 混合アンテナのときはそのまま使用できることがあります。
UHFアンテナが設置されていてもデジタル放送送信アンテナが新設された地域では、アナログ放送用受信アンテナと向きが異なり受信できないことがあります。
また、周辺に電波障害の原因になる高層建造物が建って電波が弱くなったり特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。
このようなときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ CATV で受信のとき

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。
ケーブルテレビの受信には、ケーブルテレビ会社との契約およびケーブル施設工事が必要です。有料放送をご覧いただくには、ケーブルテレビ会社のホームターミナルなどを接続する必要があります。

■ マンション・アパートなどの集合住宅で受信のとき

お住まいの管理組合または管理会社にお問い合わせください。

B-CASカードについて

本製品には、地上デジタル放送を視聴するために必要な「mini B-CASカード」が付属されています。

- B-CAS カードの所有権は、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- お客様はmini B-CASカードの台紙に記載されている「B-CAS カード使用許諾契約約款」に基づいてこのカードを使用することができます。
- お客様は本製品をご使用になる前に、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意していただくことが必要です。
- 「B-CAS カード使用許諾契約約款」をお読みいただき、同意いただいたうえで、台紙からmini B-CASカードをはがしてください。
- mini B-CASカードを台紙からはがすと、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされます。

■ B-CAS カードの保証について

- B-CAS カードの保証期間は、本製品の保証期間と同じく、お客様へのお引き渡し完了日から1年間です。

  詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後にB-CAS カードを交換する場合は、カード発行費用が有償になります。

■ B-CAS カード情報について

- B-CAS カードのID 番号は、防水モニターの画面上で確認することができます。

  詳しくは、52ページをご参照ください。

電源について

電源の種類

防水モニターは、以下の２種類の電源で動作できます。

家庭用コンセントを使う (AC アダプター)	• 家庭用コンセントに付属の専用ACアダプターを接続して動作します。 • ACアダプターは防水構造ではありませんので、浴室、台所などの水まわりでは使用できません。
充電して使う (バッテリーパック)	• 充電台を使用して充電した本体内のバッテリーパックにより動作します。 • 近くにコンセントのない場所や浴室などでもご使用になれます。 • 連続使用時間は、満充電の状態で約５時間です。ただし、バッテリーパックの使用状態によって異なります。

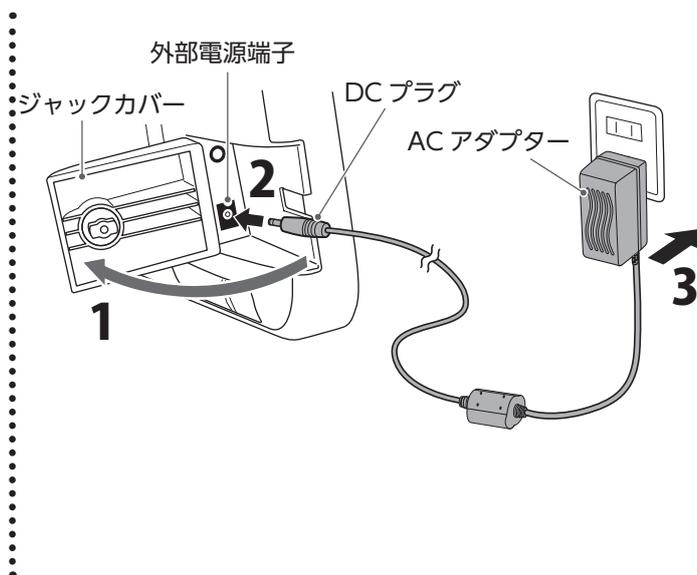
家庭用コンセントを使う

ACアダプター(防水モニター用)VD-CH38を使用します。

1 **防水モニター背面のジャックカバーを開ける。**

つまみを「OPEN」側に回し、ジャックカバーを開けます。

2 **ACアダプターのDCプラグを外部電源端子に差し込む。**

3 **ACアダプターをコンセントに差し込む。**

家庭用コンセントに接続すると、バッテリーパックが充電されます。充電ランプの表示については、21ページをご覧ください。

⚠注意

• 付属の専用ACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
• ACアダプターは防水構造ではありません。浴室、台所などの水まわりでは使用できません。
• ジャックカバーが開いた状態では防水性能を保てません。浴室、台所などの水まわりでお使いの場合は、ジャックカバーを閉め、充電してバッテリーパックでご使用ください。

充電して使う

充電台とACアダプター(防水モニター用)VD-CH38を使用します。

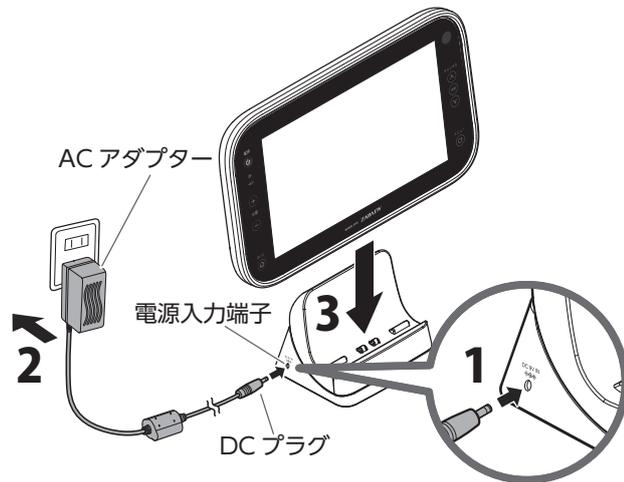
1 **充電台の電源入力端子にDCプラグを差し込む。**

2 **ACアダプターをコンセントに差し込む。**

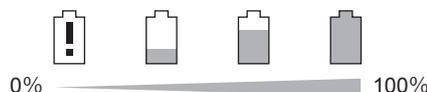
3 **防水モニターを充電台の中央に載せる。**

→充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

→充電ランプが点灯しない場合は、防水モニターがきちんと中央に載せられているかどうか確認してください。

4 **充電完了。**

充電ランプの表示について

■ 充電について

- ●充電が終了するまで最大6時間かかります。ただし、バッテリーパックの使用状態によって異なります。
- ●バッテリーパックは長時間（2週間程度）充電しないと自己放電により使用時間が短くなります。
  お使いになる前に、再度充電してからお使いになることをおすすめします。
- ●満充電に近い状態にあるときは、充電しても充電ランプが点灯しないことがあります。
- ●内蔵のバッテリーパックは、充電と使用を繰り返すと使用時間が短くなります。
- ●周囲の温度が5 ～35℃の環境で充電してください。
  本体の温度が低いときや高いときは、充電が開始されない場合があります。この場合は、本体を室温にしばらく置いてから充電を行ってください。
- ●バッテリーパックの残量がなくなると、自動的に電源が切れます。その場合は充電してください。
- ●ACアダプターを接続して動作しているときは、バッテリーパックは消費しません。
- ●充電残量が、視聴画面右上に電池アイコンで表示されます。

⚠注意

- 浴室、台所などの水まわりでは、充電したバッテリーパックでご使用ください。ACアダプターが濡れると感電や漏電、故障の危険があります。

チューナーを設置する

チューナー、mini B-CASカード、チューナー用ACアダプター（USL124-1220）、アンテナケーブルを使用します。
設置する前に、同梱の「B-CAS カード使用許諾契約約款」の内容を確認してください。

1 mini B-CASカードをセットする。

- mini B-CASカードをセットする前に同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容を確認して、mini B-CASカードを図のように押し入れてください。
- カチッと音がするまで押し入れます。

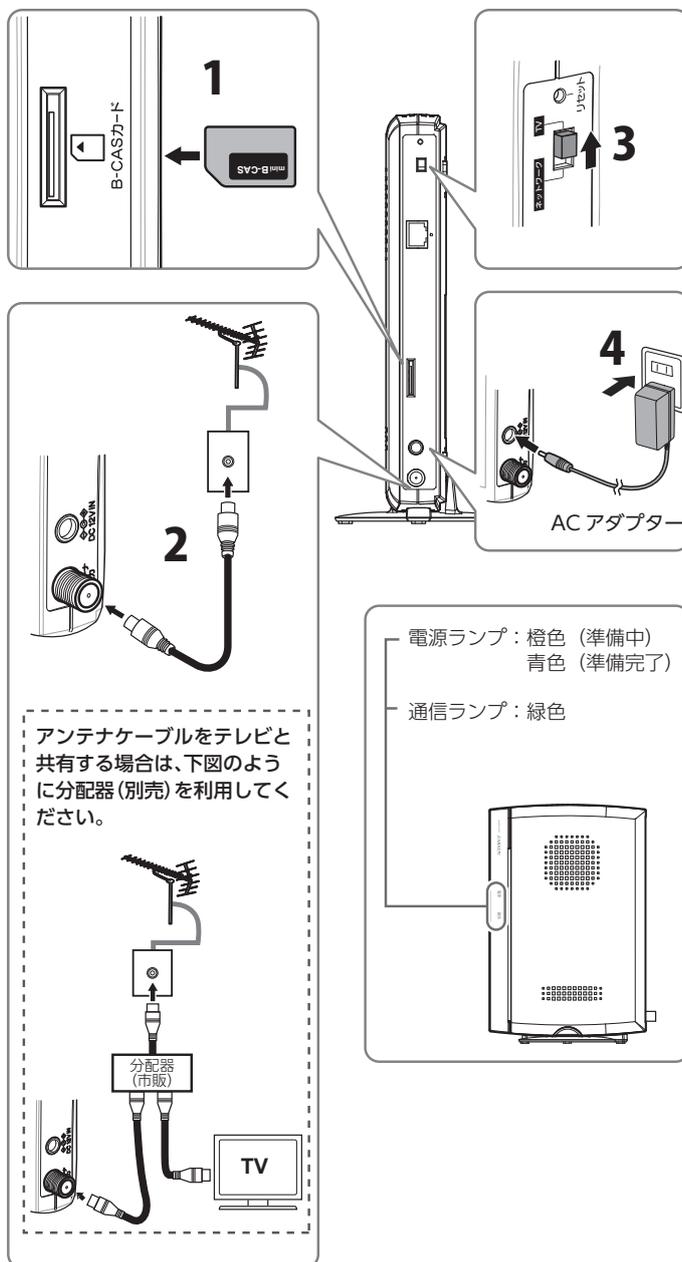
2 アンテナケーブルを接続する。

3 [TV] 側にスイッチをセットする。

4 ACアダプターをコンセントに差し込む。

→電源ランプと通信ランプが点灯します。

5 設置完了。

チューナー縦置きスタンドを使用することもできます。取付けかたについては、13ページの「チューナー縦置きスタンド」をご覧ください。

⚠注意

• 長期間チューナーを使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

防水モニターを置く

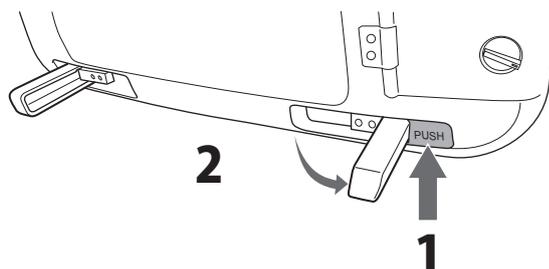
防水モニターは、次の置きかたができます。

- スタンドを使う
- 充電台に載せる

スタンドを使う

1 防水モニター背面下部のスタンドを出す。

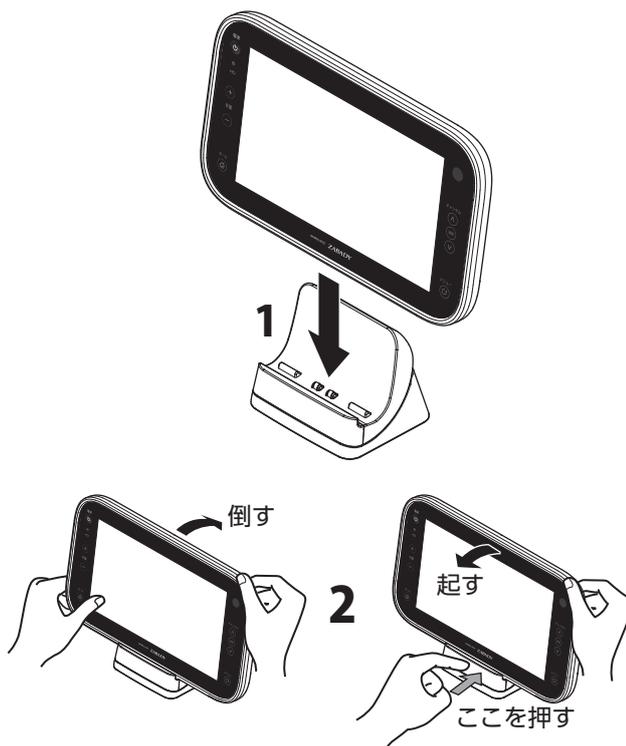
→スタンドの横のPUSHボタンを押すと、スタンドが出ます。

2 防水モニターを立てて置く。

⚠注意

- スタンドを使用する場合は、必ず左右のスタンドを立ててください。

充電台に載せる

1 充電台に防水モニターを載せる。

2 充電台の可動部分を動かして、角度を調整する。

電源を入／切する

• スリープモードは、バッテリーを少し消費しますが、すばやく起動することができます。
• 長時間お使いにならない場合は、電源を切ってください。

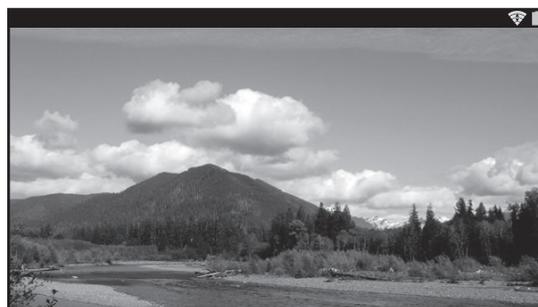
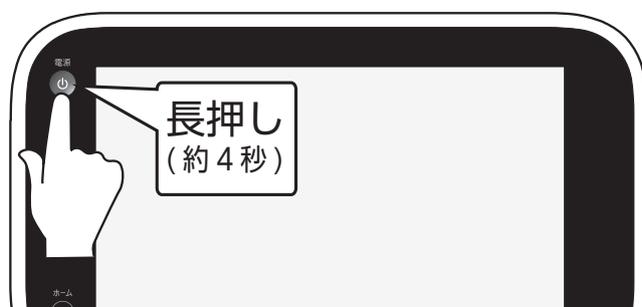
電源を入れる

1 **防水モニターの 電源 ⏻ を起動画面が表示されるまで、長押し（約4秒）する。**

●電源を入れるとともに、通信の接続も行われます。

→起動画面表示後、視聴画面が表示されます。

→ご購入後はじめて電源を入れた場合は、チャンネルスキャンが開始されます。

☞ 26ページ参照

⚠注意

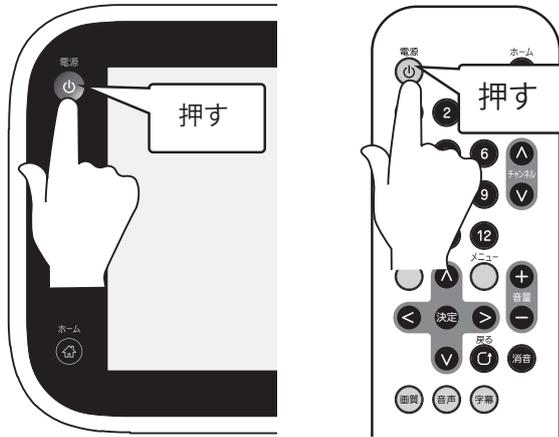
• 静電気などにより製品が誤作動することがあります。ご使用中に誤作動（正常に操作できなくなる、正常に動作しなくなる、など）したときは、いったん電源を切ってから入れなおしてください。
• バッテリーパックの電池残量が少なくなると自動的に電源が切れます。この場合は、充電してからお使いください。

テレビをつける／消す（スリープモードのオン／オフ）

1 防水モニターの 電源 を押す。

→視聴画面が表示されます。

●リモコンの 電源 を使用することもできます。

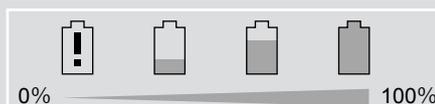
2 テレビを消すときは、再度 電源 を押す。

電源を切る

1 防水モニターの 電源 を「電源を切る」画面が表示されるまで、長押し（約３秒）する。

●リモコンの 電源 を使用することもできます。

→電源が切れます。

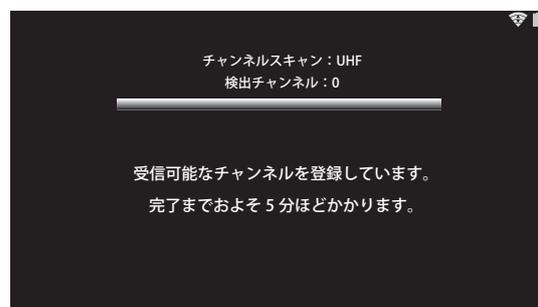
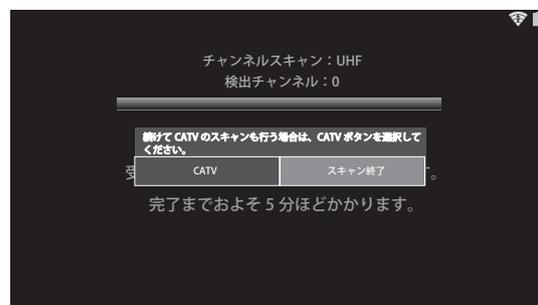
●電源を入れる場合は、「電源を入れる」に記載の手順を行います。

- バッテリーパックの残量がなくなると、自動的に電源が切れます。残量が少なくなったら早めに充電をしてください（21ページ「充電して使う」）
- 充電残量が、視聴画面右上に電池アイコンで表示されます。

チャンネルを設定する

本製品を初めてお使いになるときや、何らかの理由でチャンネル設定が消えてしまった場合に行うチャンネル設定の方法について説明します。
使用場所を変えたとき、チャンネル設定をやりなおす場合については、「チャンネル設定をやりなおす」（47ページ）をご覧ください。

1 防水モニターの電源を入れる。

☞ 24ページ参照

→UHFのチャンネルスキャンが開始されます。

→UHFのスキャンが終了した後、メッセージが表示されます。

2 ∧ / ∨ で［CATV］か［スキャン終了］を選択し、決定 をタッチする。

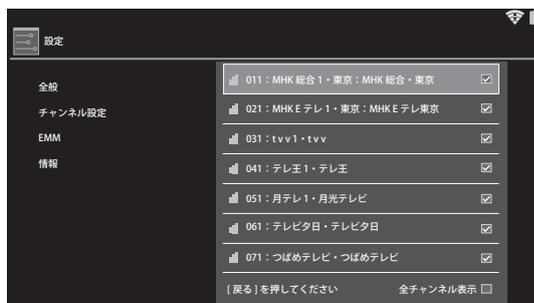
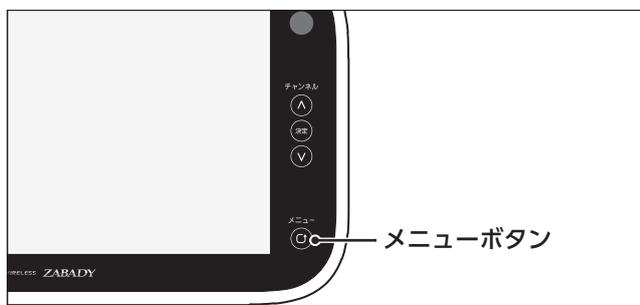
●続けてCATVをスキャンする場合は［CATV］を選んでください。CATVをスキャンしない場合は［スキャン終了］を選んでください。

⚠注意

- チャンネル設定は、電源を切ったあとも記憶されています。
- チャンネル設定をやりなおすと、以前のチャンネル設定は消去されます。受信できるチャンネルがない場合は消去されません。

- 防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 のかわりに、リモコンの ＜ / ＞ / 決定 も使用できます。

3 チャンネル設定完了。

→チャンネルリストが表示されます。

4 をタッチする。

→視聴が開始されます。

⚠注意

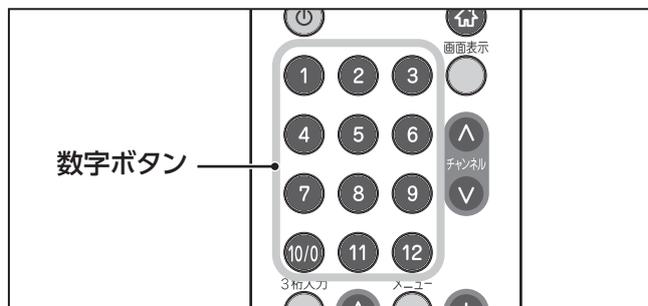
- チャンネル設定は、なるべくチューナーと防水モニターを近づけて行ってください。
- 電波が弱く受信状態が悪い場所では、すべてまたは一部のチャンネルが設定できないことがあります。チューナーや防水モニターの設置場所を変更しスキャンしなおすことで、改善する場合があります。

- 防水モニターの メニュー の代わりに、リモコンの 戻る も使用できます。

チャンネルを変える

リモコンのチャンネル番号で変える

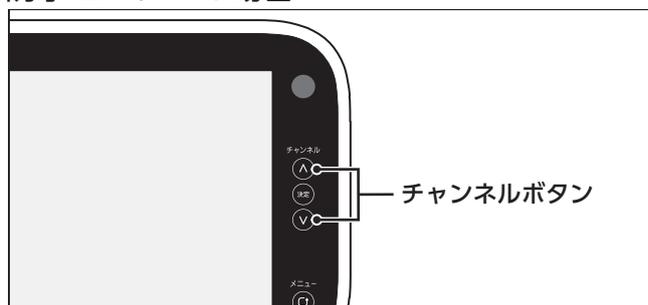
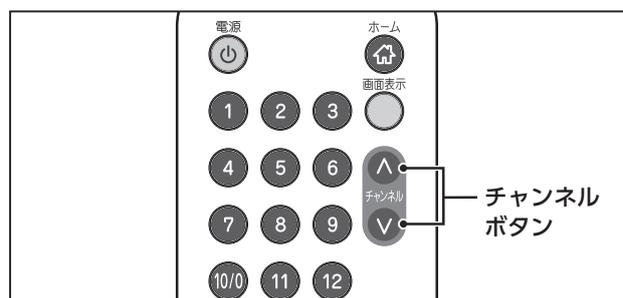
1 見たいチャンネルの数字ボタンを押す。

●チャンネルが切り替わるまでに約10秒かかります。

前後のチャンネルに変える

1 ∧ / ∨ をタッチする。

●リモコンのチャンネルボタン∧ / ∨ を使用することもできます。

●チャンネルが切り替わるまでに約10秒かかります。

<防水モニターの場合>

<リモコンの場合>

⚠注意

• 同じチャンネル番号に、2つ以上のチャンネルが設定されることがあります。そのような場合、数字ボタンでは1つのチャンネルしか選局できません。他のチャンネルは、「3桁入力」（30ページ）で切り替えてください。

リストからチャンネルを選択する

1 決定 をタッチする。

→現在のチャンネルと番組名が表示されます。

●表示を消すには、リモコンの 戻る を押してください。

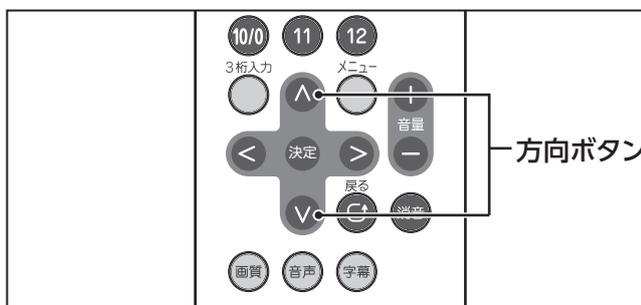
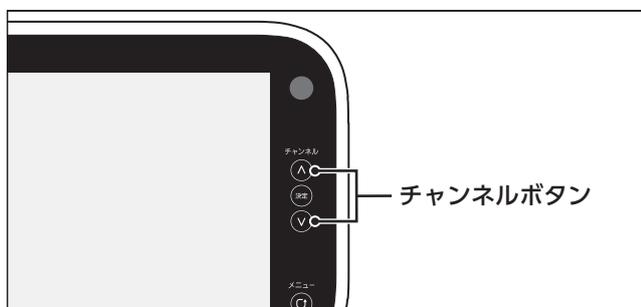
2 もう一度 決定 をタッチする。

→チャンネルリストが表示されます。

●チャンネルリストを消すには、リモコンの 戻る を押してください。

3 ∧ / ∨ でチャンネルを選択し、決定 をタッチする。

●リモコンの方向ボタン ∧/∨ を使用することもできます。

●チャンネルが切り替わるまでに約10秒かかります。

⚠注意

- 一覧に表示されるチャンネルは、表示の設定を変えることができます。
- チャンネル設定については、「チャンネルリストを切り替える」（44ページ）、「チャンネルリストを編集する」（46ページ）を参照してください。

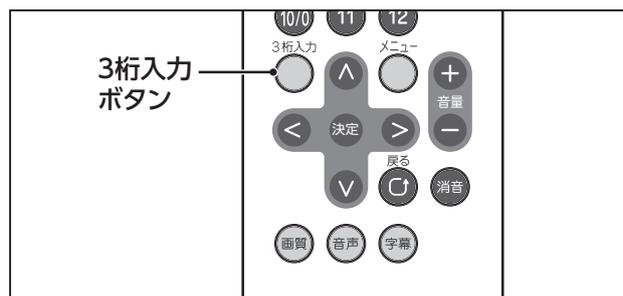
・防水モニターの 決定 の代わりに、リモコンの も使用できます。

3桁入力でチャンネルを変える

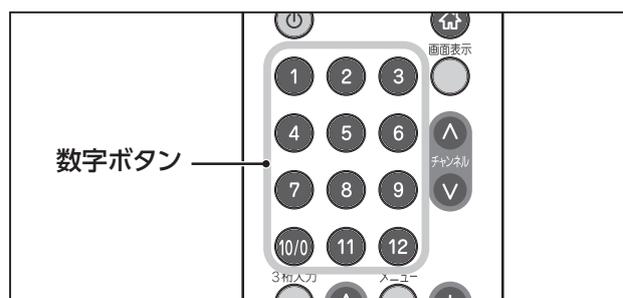
3桁入力では、リモコンに割り当てが設定されていないチャンネルも、指定することができます。
3桁チャンネル番号は、チャンネルリスト（29ページ）で確認できます。

1 リモコンの 3桁入力 を押す。

→画面に「選局：」と表示されます。

→5秒間入力を行わなかった場合、3桁入力は中断されます。

2 数字ボタンを押して、3桁チャンネル番号を入力する。

- [0]は、10/0 を押して入力します。

●チャンネルが切り替わるまでに約10秒かかります。

⚠注意

- 「メインチャンネルのみ表示」（44ページ）を設定している場合に3桁入力を行うと、「全チャンネル表示」（44ページ）の設定に切り替わります。

音量を調節する

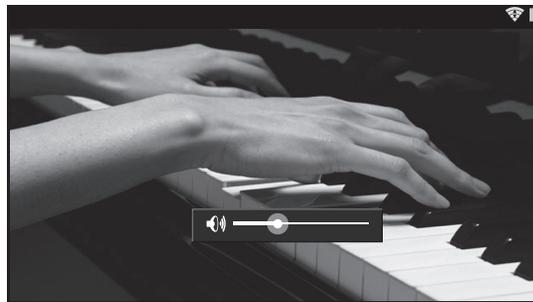
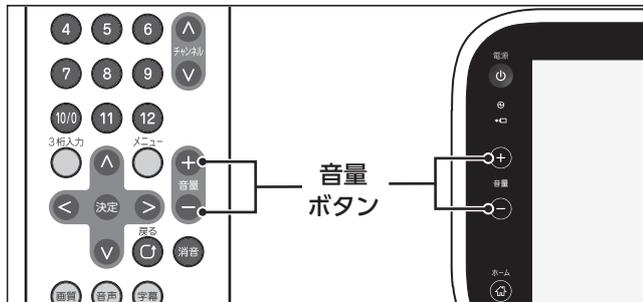
音量を調節する

1 ＋ / － をタッチする。

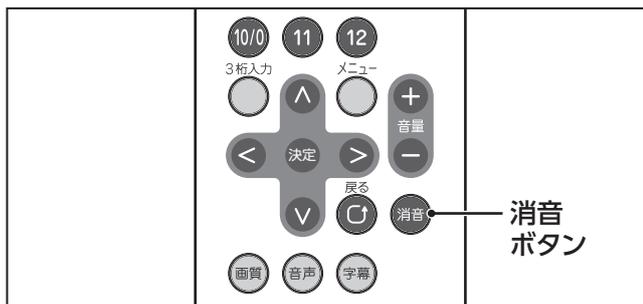
音量は 16 段階で調節できます。

- ＋ ：音量を上げる。
- － ：音量を下げる。

→画面に現在の音量を示すバーが 3秒間表示されます。

●リモコンの ＋ / － を使用することもできます。

リモコンで音を消す

1 リモコンの 消音 を押す。

2 音を元に戻す場合は、もう一度 消音 を押す。

⚠注意

- 大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがあります。ご注意ください。

音声を切り替える

音声信号が複数ある番組の場合、「第1音声」と「第2音声」を切り替えることができます。
また、多重音声番組では、「主音声」／「副音声」／「主＋副音声」を替えることができます。

防水モニターで第1音声と第2音声を切り替える

1 メニュー をタッチする。

→画面上部に [輝度調整] と [設定] アイコンが表示されます。

2 決定 をタッチする。

→設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ で [全般] を選択し、決定 をタッチする。

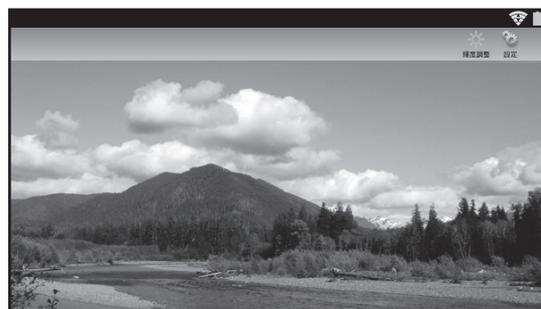
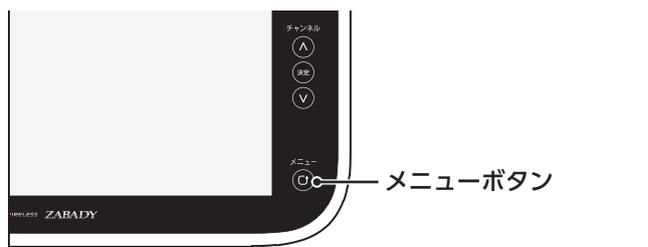
4 ∧ / ∨ で [音声信号] を選択し、決定 をタッチする。

→音声信号メニューが表示されます。

5 ∧ / ∨ で [第1音声] または [第2音声] を選択し、決定 をタッチする。

→音声信号を変更しない場合は、[キャンセル] を選択して決定 をタッチします。

6 視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。

→視聴画面に戻ります。

- 視聴画面では、防水モニターの メニュー の代わりに、リモコンの メニュー も使用できます。
- 設定画面では、防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 / メニュー のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ / 決定 / 戻る も使用できます。

防水モニターで主音声と副音声を切り替える

1 メニュー ボタンをタッチする。

→画面上部に［輝度調整］と［設定］アイコンが表示されます。

2 決定 をタッチする。

→設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ で［全般］を選択し、決定 をタッチする。

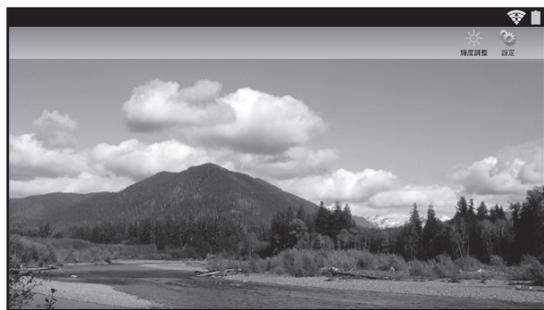
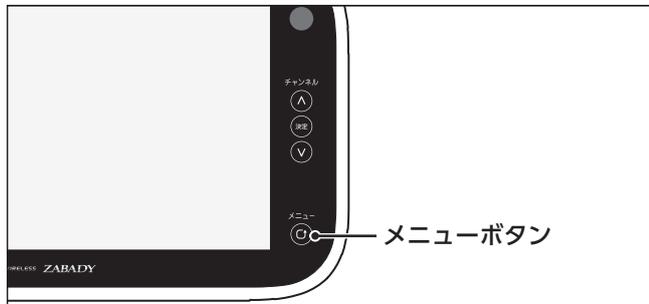
4 ∧ / ∨ で［音声多重］を選択し、決定 をタッチする。

→音声多重メニューが表示されます。

5 ∧ / ∨ で［主＋副音声］、［主音声］または［副音声］を選択し、決定 をタッチする。

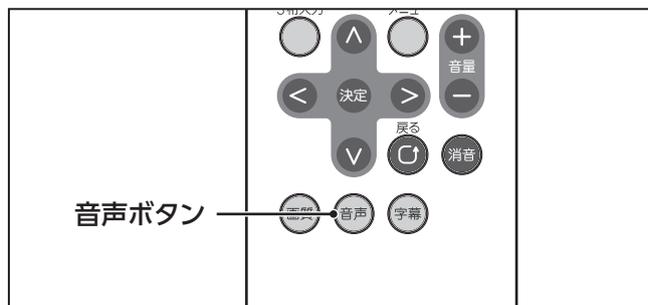
→音声多重を変更しない場合は、［キャンセル］を選択して 決定 をタッチします。

6 視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。

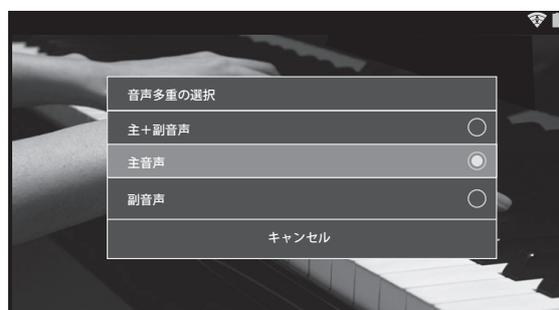
→視聴画面に戻ります。

・前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

リモコンで主音声と副音声を切り替える

1 **リモコンの 音声 を押す。**

→音声多重メニューが表示されます。

2 **リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ で [主+副音声]、[主音声] または [副音声] を選択し、決定 を押す。**

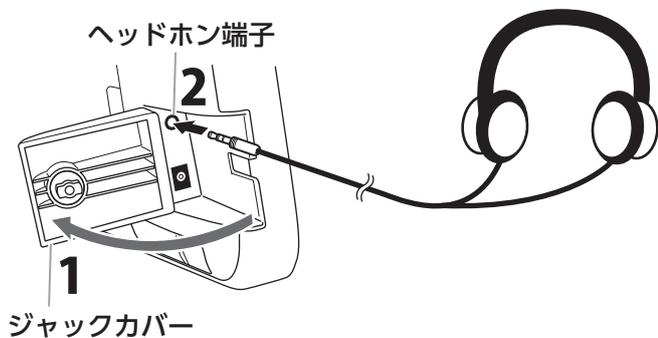
→多重音声を変更しない場合は、[キャンセル] を選択して 決定 を押します。

●切り替わるまでに約10秒かかります。

その他の設定

ヘッドホンで音声を聞く

1 防水モニター背面のジャックカバーを開ける。

- つまみを「OPEN」側に回し、ジャックカバーを開けます。

2 市販のφ3.5mmミニプラグのヘッドホンをヘッドホン端子に接続する。

⚠注意

- ヘッドホンを接続した場合は、ジャックカバーが開いた状態になるため、防水になりません。
- 大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがありますので、ご注意ください。
- ヘッドホンをヘッドホン端子に接続すると、スピーカーからは音声出力されません。
- 音量の調節方法については、31ページをご覧ください。

字幕を切り替える

字幕がある番組の場合、字幕の表示／非表示を切り替えることができます。

防水モニターで字幕を切り替える

1 設定画面を表示する

☞ 表示方法は、32ページの手順1～2を参照してください。

→設定画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ で [全般] を選択し、決定 をタッチする。

3 ∧ / ∨ で [字幕表示] を選択し、決定 をタッチする。

→[字幕表示] 右のチェックマークのオン/オフが切り替わります。

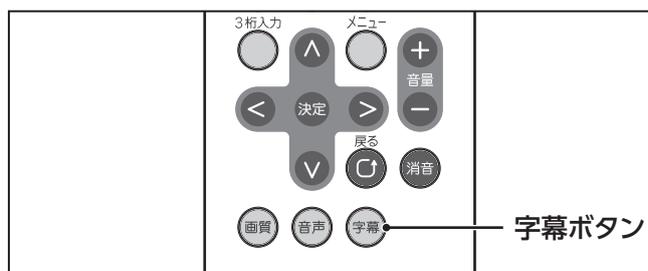
4 視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。

→視聴画面に戻ります。

リモコンで字幕を切り替える

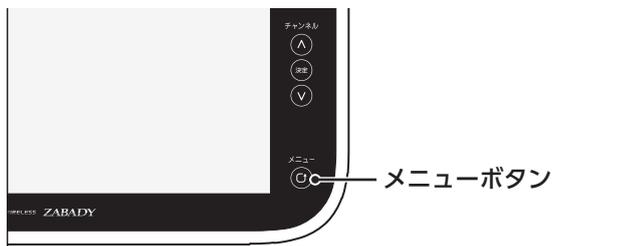
1 リモコンの 字幕 を押す。

→押すたびに、[字幕ON]/[字幕OFF] が切り替わります。

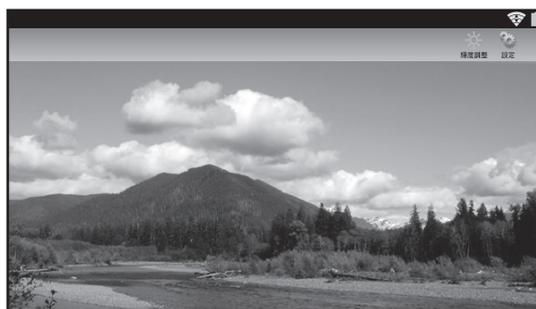
●字幕を切り替わるまでに約5～10秒かかります。

・設定画面では、防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 / メニュー のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ / 決定 / 戻る も使用できます。

画面の明るさを調整する

1 メニュー ボタン をタッチする。

→画面上部に [輝度調整] と [設定] アイコンが表示されます。

2 ∧ / ∨ で [輝度調整] アイコンを選択し、決定 をタッチする。

→輝度調整画面が表示されます。

●リモコンの方向ボタン < / > を使用することもできます。

3 ∧ / ∨ で輝度 (画面の明るさ) を調整する。

●リモコンの方向ボタン < / > をを使用することもできます。

4 決定 をタッチする。

輝度調整を終了します。

・防水モニターの メニュー / 決定 の代わりに、リモコンの メニュー / 決定も使用できます。

受信状態が不安定なときは

防水モニターは、チューナーから無線の電波でテレビ映像を受信しています。
チューナーから防水モニターまでの距離や、壁、家具などの遮へい物、他の無線機器からの電波干渉などによって、受信状態が不安定になり、映像や音声が途切れたり、止まったり、受信できなくなったりすることがあります。(16ページ)
その場合は、以下のようなことをご確認ください。

チューナーからの受信状態を確認する

防水モニターの画面の右上に表示されている、受信レベルアイコンを確認します。

受信レベルは、防水モニターが受信している電波の強さを表しています。
チューナーとの通信状態の目安になりますが、他の機器からの電波干渉の影響によっては、受信レベルが高くても映像が途切れたり止まったりすることがあります。

防水モニターとチューナーの距離を近づける

チューナーにできるだけ近づいてご使用ください。
またはチューナーをできるだけ防水モニターから近いところに設置してください。
環境によって電波が届きにくくなることがあります。(16ページ)

他の無線機器の影響を確認する

他の無線機器から離れた場所でご使用ください。
またはこれらの機器の電源を切ってください。(16ページ)

画質を変更する

画質を変更する (42ページ) と、通信の安定度が変わります。
通信状態が不安定で映像が途切れやすい場合は、画質の変更をお試しください。

- 標準画質 (初期状態) の場合、低画質へ変更する。
- 高画質の場合、標準画質、または低画質へ変更する。

標準画質の場合、受信レベルアイコンが３本以上、高画質の場合は４本、低画質の場合は２本以上が目安です。
ただし他の機器からの電波干渉の影響によっては、十分な受信レベルがあっても映像が途切れたり止まったりすることがあります。

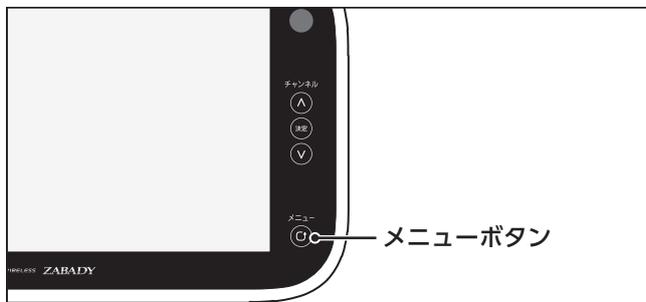
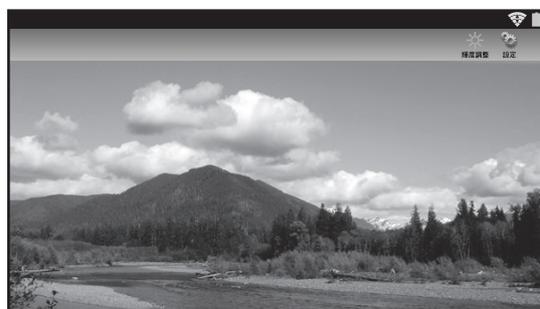
エラーが表示されるとき

テレビが視聴できず、エラーが表示される場合は、59ページ「エラーが表示された場合」を参照してください。

信号レベルを確認する

テレビアンテナの信号レベルを表示する

1 （メニュー）をタッチする。

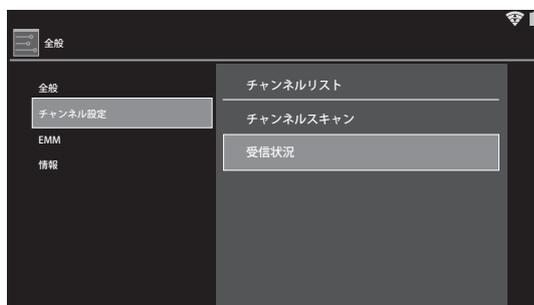
→画面上部に［輝度調整］と［設定］アイコンが表示されます。

2 （決定）をタッチする。

→設定画面が表示されます。

3 （∧）/（∨）で［チャンネル設定］を選択し、（決定）をタッチする。

→チャンネル設定メニューが表示されます。

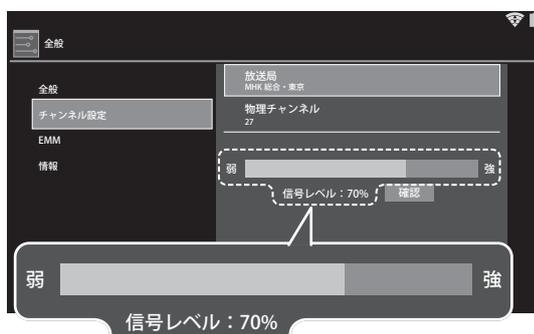
- 視聴画面では、防水モニターの（メニュー）/（決定）の代わりに、リモコンの（メニュー）/（決定）も使用できます。
- 設定画面では、防水モニターの（∧）/（∨）/（決定）/（メニュー）のかわりに、リモコンの方向ボタン（∧）/（∨）/（決定）/（戻る）も使用できます。

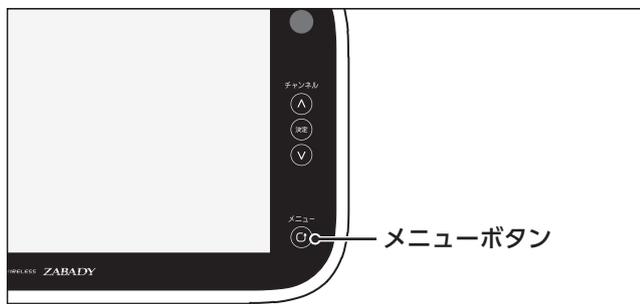
4 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で［受信状況］を選択し、決定 をタッチする。

→受信状況画面が表示されます。

5 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ でチャンネルを選択し、決定 をタッチする。

→信号レベル確認画面が表示されます。

●信号レベルは、テレビアンテナが受信しているテレビ放送信号の質を表わしています。天候などの条件により変動します。

●決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で［確認］を選択して 決定 をタッチすると、信号レベルを更新することができます。

【信号レベル】

6 他のチャンネルの信号レベルを確認する場合は、メニュー をタッチし、手順5を繰り返す。

7 視聴画面に戻るまでリモコンの 戻る を押す。

→視聴画面に戻ります。

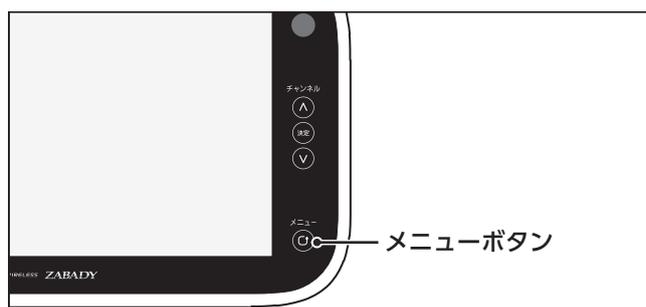
・前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

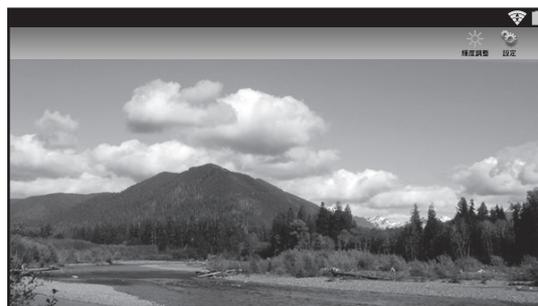
画質を変更する

テレビ映像の画質を、標準画質から高画質や低画質に変更することができます。
高画質にすると、電波の通信状態によって映像が途切れたり止まったりする可能性が高くなります。
低画質にすると、通信は安定しますが、画質は粗くなります。

防水モニターで画質を変更する

1 メニュー をタッチする。

→画面上部に［輝度調整］と［設定］アイコンが表示されます。

2 決定 をタッチする。

→設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ で［全般］を選択し、決定 をタッチする。

4 ∧ / ∨ で［画質設定］を選択し、決定 をタッチする。

→画質メニューが表示されます。

5 ∧ / ∨ で [高画質]、[標準画質]、または [低画質] を選択し、決定 をタッチする。

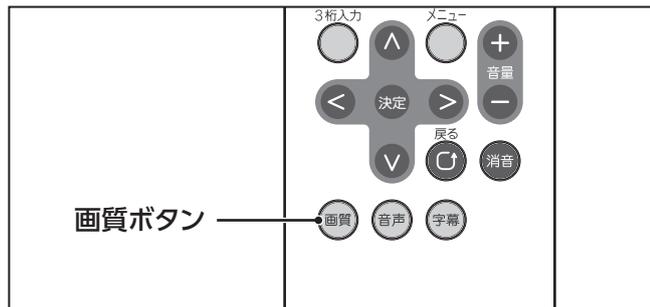
●画質を変更しない場合は、[キャンセル] を選択して 決定 をタッチします。

6 視聴画面に戻るまでリモコンの 戻る を押す。

→視聴画面に戻ります。

リモコンで画質を変更する

1 リモコンの 画質 を押す。

→画質メニューが表示されます。

2 リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ で [高画質]、[標準画質]、または [低画質] を選択し、決定 を押す。

→画質が変更され、視聴画面に戻ります。

- 視聴画面では、防水モニターの メニュー / 決定 の代わりに、リモコンの メニュー / 決定 も使用できます。
- 設定画面では、防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ ・ 決定 も使用できます。
- 前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

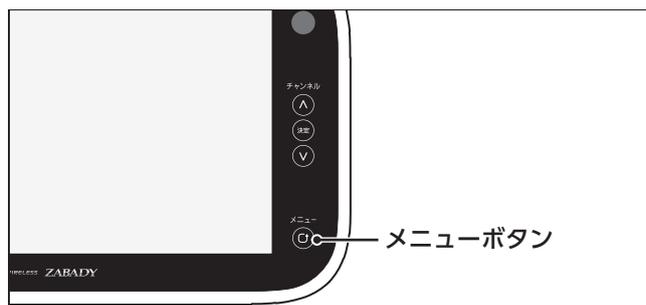
チャンネルの表示と設定

チャンネルリストを切り替える

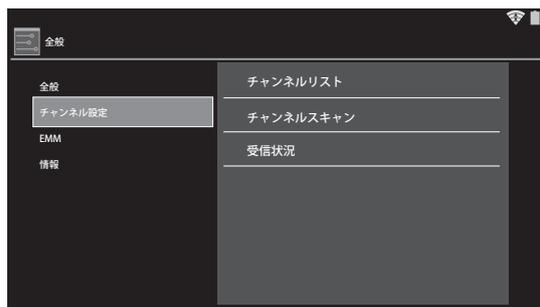
視聴画面のチャンネルリストは、「全チャンネル表示」または「メインチャンネルのみ表示」に切り替えることができます。
「全チャンネル表示」にすると、メインチャンネルだけでなくサブチャンネルもチャンネルリストに表示され、選局できるようになります。

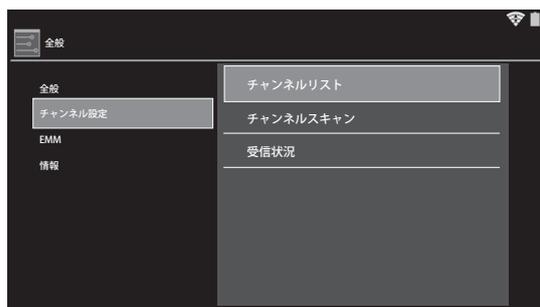
1 メニュー をタッチする。

→画面上部に［輝度調整］と［設定］アイコンが表示されます。

2 決定 をタッチする。

→設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ で［チャンネル設定］を選択し、決定 をタッチする。

→チャンネル設定メニューが表示されます。

4 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で［チャンネルリスト］を選択し、決定 をタッチする。

→チャンネルリスト設定画面が表示されます。

⚠注意

- 「メインチャンネルのみ表示」を設定している場合に3桁入力（30ページ）を行うと、「全チャンネル表示」の設定に切り替わります。

●[全チャンネル表示] チェックマークがオンになっている場合は、全チャンネルを表示する設定になっています。

●[全チャンネル表示] チェックマークがオフになっている場合は、メインチャンネルのみを表示する設定になっています。

5 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で [全チャンネル表示] を選択し、決定 をタッチする。

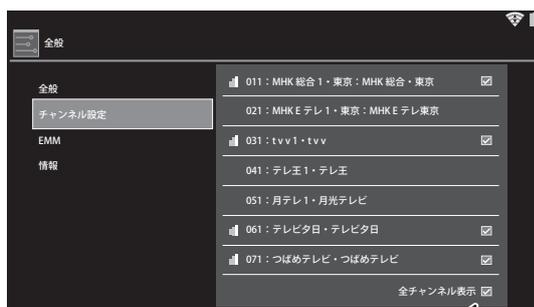
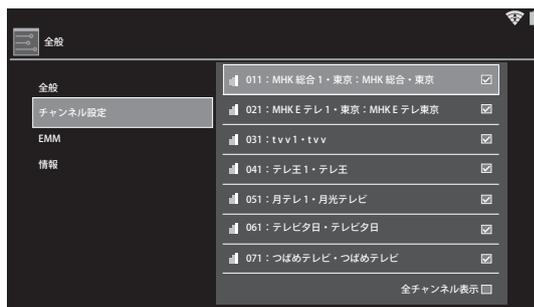
→[全チャンネル表示] チェックマークがオンまたはオフになります。

オン

オフ

●[全チャンネル表示] チェックマークをオンにした場合は、全チャンネル表示に切り替わります。

●[全チャンネル表示] チェックマークをオフにした場合は、メインチャンネルのみの表示に切り替わります。

6 視聴画面に戻るまで (メニュー) をタッチする。

→視聴画面に戻ります。

- 視聴画面では、防水モニターの (メニュー) / 決定 の代わりに、リモコンの (メニュー) / 決定 も使用できます。
- 設定画面では、防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ ・ 決定 も使用できます。
- 前のメニューに戻る場合は、防水モニターの (メニュー) をタッチするか、リモコンの (メニュー) / (戻る) を押します。

チャンネルリストを編集する

チャンネルごとの表示/非表示を切り替えることができます。

1 **チャンネルリスト設定画面を表示する。**

☞ 表示方法は、44ページの手順1～4を参照してください。

→チャンネルリスト設定画面が表示されます。

●チャンネル名の右に青いチェックマークが表示されていないチャンネルは、現在チャンネルリストで非表示に設定されています。

2 **決定 をタッチしてから ∧ / ∨ でチャンネルを選択し、決定 をタッチする。**

→チャンネル名の右に青いチェックマークがオンまたはオフになります。

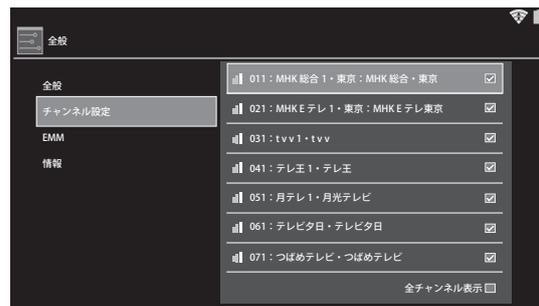
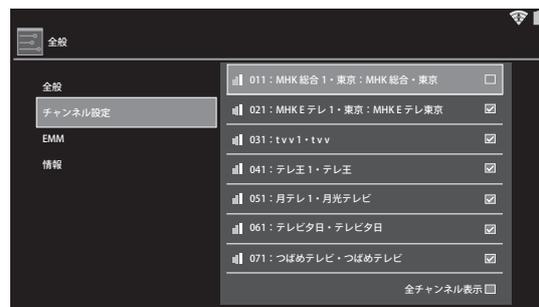
☑ オン

■ オフ

●オンにしたチャンネルは表示され、オフにしたチャンネルは非表示に切り替わります。

3 **他のチャンネルも非表示に設定する場合は、手順2を繰り返す。**

4 **視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。**

→視聴画面に戻ります。

・設定画面では、防水モニターの / / / のかわりに、リモコンの方向ボタン   / / 決定 / （戻る）も使用できます。

チャンネル設定をやりなおす

使用地域が変わったときなど、チャンネル設定をやりなおすことができます。

1 チャンネル設定メニューを表示する。

☞ 表示方法は、44ページの手順1～3を参照してください。

→チャンネル設定メニューが表示されます。

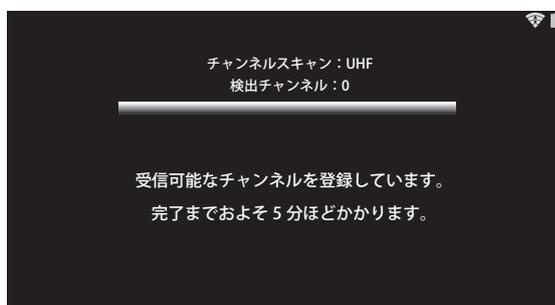
2 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で [チャンネルスキャン] を選択し、決定 をタッチする。

→チャンネルスキャン画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ で [UHF]、[CATV]、または [UHF＋CATV] を選択し、決定 をタッチする。

→チャンネル設定をやり直さない場合は、[キャンセル] を選択して 決定 をタッチします。

→チャンネルスキャンが開始されます。

→スキャンが終了した後、メッセージが表示されます。

・前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

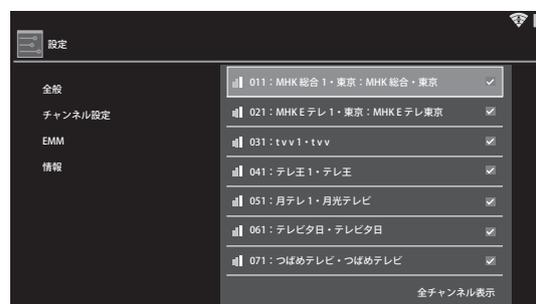
4 ∧ / ∨ で [CATV] か [スキャン終了] を選択し、決定 をタッチする。

●続けてCATVをスキャンする場合は [CATV] を選んでください。CATVをスキャンしない場合は [スキャン終了] を選んでください。

5 視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。

→チャンネル番号の一番小さいチャンネルの視聴画面が表示されます。

設定・確認

チャンネルの表示と設定

⚠注意

スキャン結果は以前のチャンネル設定を上書きします。

- CATVのスキャン結果がリストにある時UHFをスキャンした場合は、UHF帯のみ削除して上書きします。
- UHFのスキャン結果がリストにある時CATVをスキャンした場合は、CATV帯のみ削除して上書きします。
- UHF+CATVの場合は、以前の結果を削除して上書きします。
  ただし、スキャンに失敗した場合は上書きされません。

- 複数の送信所の電波が受信できる環境で、それぞれから同一の放送局の電波を受けた場合は、最も周波数の低い電波を優先して割り当てます。

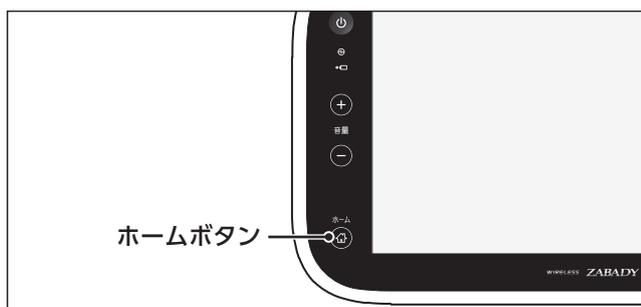
無線通信の設定（通常は行う必要はありません。）

「チューナーと通信できません」というエラーが表示され、他の原因が見られなかったとき、無線接続の設定を行うと改善する場合があります。

⚠注意

- この操作は、通常は行う必要はありません。どうしても問題が解決しない場合にのみお試しください。

1 （ホーム）をタッチする。

→ホーム画面が表示されます。

【ホーム画面】

2 V で［無線通信を設定する］を選択し、決定 をタッチする。

→「無線通信の設定を変更しますか？」と表示されます。

3 無線通信の設定を変更します。
Λ / V で［はい］を選択し、
決定 をタッチする。

→無線通信設定画面が表示されます。

- 防水モニターの / / 決定 / （ホーム）のかわりに、リモコンの方向ボタン / ・ / （ホーム）も使用できます。

4 [ID番号] に、リモコンの数字ボタンでチューナーに記載されたID番号 (5桁の数字) を入力する。

→入力カーソルが [パスワード] に移動します。

5 数字ボタンでチューナーに記載されたパスワード (13桁の数字) を入力する。

6 決定 をタッチする。

→入力内容が正しい場合、無線通信接続が開始されます。

→ホーム画面に戻ります。

が表示されたら設定は完了です。

7 ∧ / ∨ で [テレビを見る] を選択し、 決定 をタッチする。

→視聴画面に戻ります。

・防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨ ・ 決定 も使用できます。

その他の確認

メール情報を確認する

放送局などからB-CASカード毎に伝送される個別のメッセージ、または共通メッセージを確認することができます。

1 **設定画面を表示する**

☞ 表示方法は、42ページの手順1〜2を参照してください。

→設定画面が表示されます。

2 **∧ / ∨ で [EMM] を選択し、決定 をタッチする。**

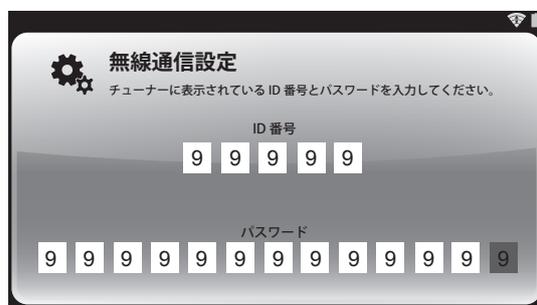
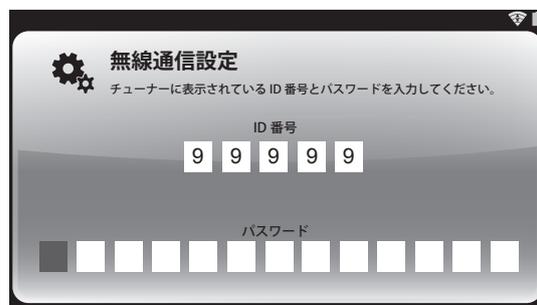
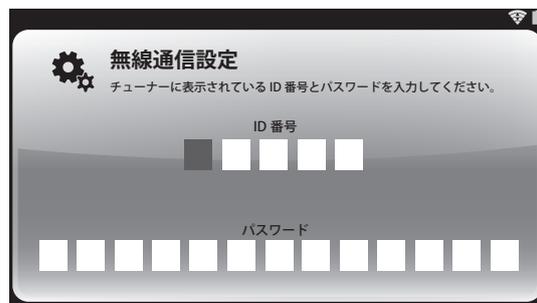
→EMM画面にメッセージ一覧が表示されます。

3 **決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で内容を確認したいメッセージを選択し、決定 をタッチする。**

→EMM詳細画面が表示されます。

- 内容を確認します。

4 **視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。**

→視聴画面に戻ります。

・前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

バージョン情報・B-CASカード情報を確認する

テレビアプリケーションの情報、およびB-CASカードの情報を確認することができます。

1 設定画面を表示する

☞ 表示方法は、42ページの手順1～2を参照してください。

→設定画面が表示されます。

2 ∧ / ∨ で［情報］を選択し、決定 をタッチする。

→情報画面にテレビアプリケーションのバージョン情報が表示されます。

3 決定 をタッチしてから ∧ / ∨ で［B-CASカード情報］を選択し、決定 をタッチする。

→B-CASカード情報画面が表示されます。

- 内容を確認します。

4 視聴画面に戻るまで メニュー をタッチする。

→視聴画面に戻ります。

- 設定画面では、防水モニターの ∧ / ∨ / 決定 のかわりに、リモコンの方向ボタン ∧ / ∨・決定 も使用できます。
- 前のメニューに戻る場合は、防水モニターの メニュー をタッチするか、リモコンの メニュー / 戻る を押します。

設定・確認　その他の確認

チューナーをリセットする

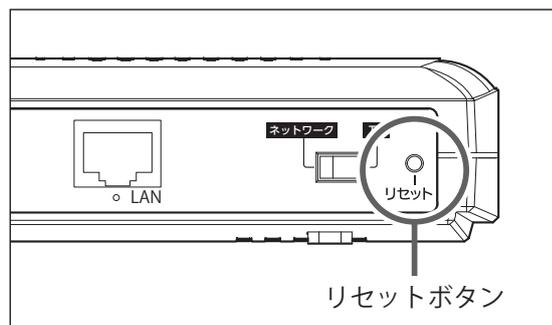
チューナーが正常に動作していないとき、チューナーの動作をリセットすることができます。

1 防水モニターの電源を切る。

2 チューナーのリセットボタンを10秒以上押す。

●小さな穴の中のボタンを細いピンなどで押します。

→リセットが開始されます。

→リセットが終了すると、電源ランプと通信ランプが点灯します。

こんなときは

バッテリーパック交換について

■ バッテリーパック交換について

- 防水モニターに内蔵されているバッテリーパックは、充放電を繰り返すと、容量が低下します。充放電可能な回数は周囲温度や使用時間などで変わります。
- 充電しても使用時間が短かったり、電源が入らないときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。
- 製品の廃棄時に取り出した使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルへご協力ください。バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

バッテリーパックの購入については「お客様サービス係」までご相談ください。
バッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも無料修理の適用外となります。

製造番号	製品名	価格（送料別）
VW-BA40LP	バッテリーパック（1個）	5,775円（本体価格5,500円）

〒 959-0292　新潟県燕市吉田西太田 2084-2
ツインバード工業（株）「お客様サービス係」
【フリーダイヤル】0120-337-455
（土・日・祝日を除く 9:00 ～ 17:00）

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成 16 年 4 月現在の税率に基づいて計算されています。

⚠注意

- バッテリーパックを交換する、または防水モニターを廃棄するとき以外はバッテリーカバーを開けないでください。
- バッテリカバーを開く際は、必ず防水モニターの水気を取り除き、乾いた手で行ってください。
- 防水モニターがバッテリーパックで動作しなくなった（放電した）ことを確認してバッテリーパックを取りはずしてください。

バッテリーパックの交換方法

■ バッテリーパックの取りはずしかた

1 防水モニターからACアダプターおよびヘッドホンを取りはずす。

2 スタンドをたたむ。

3 バッテリーカバーの左右のネジカバー（2カ所）を取りはずす。

- マイナスドライバーなどの先端をネジカバーのミゾに差し込み、ネジカバーを持ち上げるようにしてはずします。

4 プラスドライバーでバッテリーカバーのネジを取りはずす。

5 バッテリーカバーを取りはずす。

- マイナスドライバーなどの先端をネジ穴の内側のミゾに差し込み、バッテリーカバーを持ち上げるようにしてはずします。

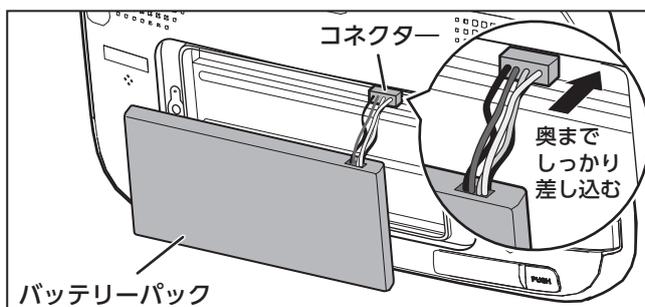
6 本体とバッテリーをつなぐコネクターを取りはずす。

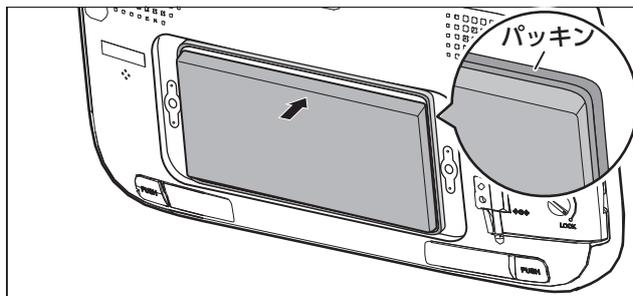
7 ゆっくりとバッテリーパックを取り出します。

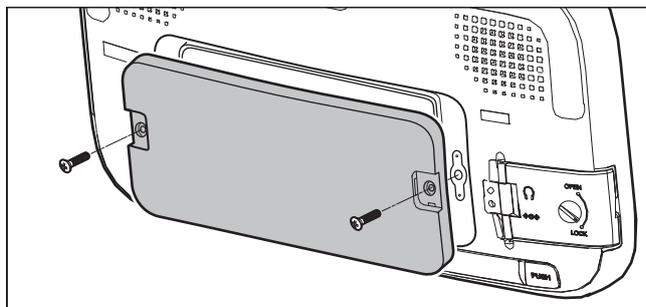
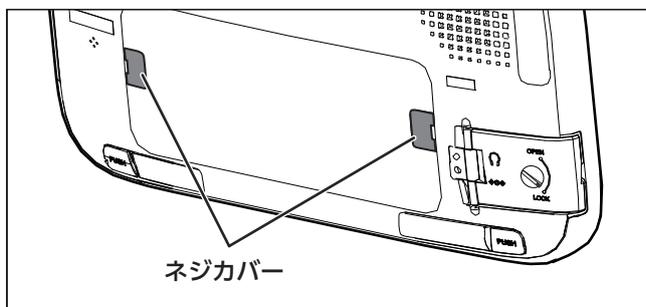
バッテリーパックの処理について

- 取りはずしたバッテリーパック（リチウムイオン充電池）は、端子部にテープなどを貼って、お近くのリサイクル協力店へお持ちください。（54ページ）

■ バッテリーパックの取付けかた

1 新しいバッテリーパックのコネクターを基板に取付けます。

2 バッテリーパックをバッテリーパック収納部に入れます。

- パッキンがはずれかかっていたら、取付けてください。

3 バッテリーカバーを取りつけ、プラスドライバーでバッテリーカバーのネジを締めます。

- ケーブルをバッテリーカバーで挟み込まないよう注意してください。

4 左右のネジカバー（2カ所）を取付けます。

⚠注意

- バッテリーカバーが浮き上がらないように、しっかりと取り付けてください。すきまが生じていると、防水性が損なわれ、火災・感電・故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

電源のトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
電源が入らない。	防水モニターにACアダプターの電源プラグがしっかりと差し込まれていますか？	電源プラグを防水モニターにしっかりと差し込んでください	20
	ACアダプターがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？	ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください	20
電源を入れてもすぐに切れる。 動作中に電源が切れる。	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックの電池残量が少なくなっていませんか？	バッテリーパックを充電してください。改善されないときは、バッテリーパックの寿命が考えられます。「お客様サービス係」にご相談ください。	21, 54
充電ができない。 充電ランプが点灯しない。	すでに満充電になっていませんか？	そのままお使いください。	
	同じバッテリーパックを長く使用していませんか？	バッテリーパックの寿命が考えられます。「お客様サービス係」にご相談ください。	54

チューナー・防水モニターのトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
エラーが表示される。	59ページをご覧ください。		59
音声・映像が途切れる。	チューナーの向きはどうなっていますか？	チューナーの向きを変えてみてください。	16・38・39
	防水モニターとチューナーの向きはどうなっていますか？	チューナーは防水モニターからできるだけ近くに設置してください。	16・38・39
	チューナーの電波が届きにくい部屋・地下などで防水モニターを使用していませんか？	故障ではありません。受信レベルを確認して、電波の届きやすい場所で防水モニターを使用してください。	16・17・38・39
	チューナーや防水モニターの近くでデジタル機器（パソコン、テレビ、レコーダーなど）を使っていませんか？	故障ではありません。他のデジタル機器（パソコン、テレビ、レコーダーなど）から電波の影響を受け、受信が不安定になることがあります。他のデジタル機器から離してお使いください。	16・17・38・39
音声多重切替しても音声が変わらない。	音声多重に対応していない番組ではありませんか？	音声多重に対応していない番組は、通常のステレオ放送のため切り替わりません。番組詳細をご確認ください。	
字幕が表示されない。	字幕情報のない番組ではありませんか？	字幕に対応した番組でないと字幕は表示されません。番組詳細をご確認ください。	
	字幕設定がオフになっていませんか？	字幕設定をオンにしてください。	36

チューナー・防水モニターのトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
防水モニターのタッチセンサー式スイッチに触れても反応しない。誤反応する。		次の場合は、スイッチに触れても反応しないことがあります。 ・多量の水しぶきがかかっている ・ぬれた指で触れている ・手袋をした指で触れている ・手全体で触れている ・シールが貼ってある	10
チャンネルの切り替えに時間がかかる。		異常ではありません。チャンネルの切り替えに約10秒かかります。	

防水リモコンのトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
• 防水リモコンで操作できない。 • 防水リモコンの効きが悪い。	防水リモコンの赤外線発光部を本体の防水リモコン受光部に向けて操作していますか？	防水リモコン受光部に向けて操作してください。	14
	本体から遠いところで防水リモコン操作をしていませんか？	本体から3mの範囲内で操作を行ってください。	14
	防水リモコンと本体の間に障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。	
	防水モニターの防水リモコン受光部に、蛍光灯や直射日光などの強い光が当たっていませんか？	防水モニターの向きを変えるなどして、防水リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。	
	防水リモコンの電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。	15
	防水リモコンの電池が正しい方向にセットされていますか？	電池の極性をご確認の上、正しくセットしなおしてください。	15

その他のトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
他のデジタル機器やテレビに雑音が出る。 音声・映像が途切れる。	他のデジタル機器やテレビが本製品の近くありませんか？	他のデジタル機器やテレビを本製品から離して使用してください。	
スピーカーから音声が出ない。	音量が下がっていませんか？	音量を調節してください。	31
	ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか？	ヘッドホンをはずしてください。	10, 35

その他のトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参照ページ
スピーカーの音が小さい。	スピーカー部分に水滴がついていませんか？	タオル等で水滴を取り除いてください。	
ヘッドホンから音声が出ない。 音声が途切れる。 異音がする。	ヘッドホンのプラグがヘッドホン端子にしっかり接続されていますか？	ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に正しく接続してください。	35
チューナーや防水モニターが正常に動作しない。		静電気などにより誤動作をしていることが考えられます。電源を入れなおしてください。	24

エラーが表示された場合

エラー表示	処置方法
チューナーと通信できません	防水モニターがチューナーからの電波を受信できていません。 •防水モニターとチューナーを近づける。(16ページ) •他の無線機器から離す、または他の無線機器の電源を切る。 •チューナーのモード切り替えスイッチを［TV］側に切り替える。(12ページ) •無線通信設定を行う。(49ページ)
チューナーとの接続が切断されました。	防水モニターがチューナーからの電波を受信できていません。 •防水モニターとチューナーを近づける。(16ページ) •他の無線機器から離す、または他の無線機器の電源を切る。
チューナーとの通信が不安定です。	防水モニターがチューナーからの電波を安定して受信できていません。 •防水モニターとチューナーを近づける。(16ページ) •他の無線機器から離す、または他の無線機器の電源を切る。
mini B-CAS カードが認識できません。	•mini B-CASカードが正しく挿入されているか確認する。(22ページ) •チューナーの電源を入れなおす。
テレビアンテナの受信状態を確認してください。	テレビアンテナの受信状態がよくない場合に表示されます。 •チューナーとアンテナケーブルの接続を確認する。(22ページ)
チャンネルが検出できませんでした。	テレビアンテナの受信状態がよくなく、チャンネルスキャンに失敗した場合に表示されます。 •チューナーとアンテナケーブルの接続を確認する。(22ページ) •放送が終了していないか確認する。
チューナーが認識できません。	防水モニターからチューナーが正しく認識できていません。 •チューナーまたは防水モニターの電源を入れなおす。
予期せぬエラーが発生しました。	表示されたエラーコードの番号をメモに控え、「お客様サービス係」にご連絡ください。

エラー表示を確認したら、表示された［リトライ］、［OK］、［ヘルプ］から目的の操作を ∧ / ∨ で選択し、決定 をタッチしてください。

- ［リトライ］…もう一度元の動作を繰り返します。
- ［OK］ ………そのまま視聴画面に戻ります。
- ［ヘルプ］……処置方法が画面に表示されます。

本製品を廃棄するとき

本製品を廃棄する場合はバッテリーパックを取りはずし、地方自治体の指示(条例)に従ってください。
取りはずした使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルにご協力ください。
バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

お手入れ

お手入れは、必ず電源を「切」にしコンセントを抜いてから行なってください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。
- ジャックカバーの内部に水が入ったときは、ただちに「お客様サービス係」にご相談ください。

〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株)「お客様サービス係」
0120-337-455
FAX 0256-93-1077
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

アフターサービス

1. 保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。(ただし、バッテリーパックは除く。)
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
  修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- この防水ワイヤレステレビの補修用性能部品の保有期間は製造打切後５年です。
- 性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
〈修理部品について〉
修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検

★長年ご使用の防水ワイヤレステレビの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●ACアダプターやプラグが異常に熱くなる。 ●コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●こげくさい臭いがする。 ●ACアダプターに深いキズや変形がある。 ●電池から液もれしている。 ●いつもより、電池が熱くなっている。 ●電池の端子部にさびが発生している。 ●映像や音声が出ないことがある。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

仕様

防水モニター

防水仕様	JIS IPX7相当*[1]	
電源	専用ACアダプター(付属・防水モニター用)	AC100V　50/60Hz
	専用バッテリーパック(内蔵)	リチウムポリマー充電池
消費電力	テレビ受信時	約5.5W
	バッテリーパック充電時(ACアダプター)	約9.1W
製品質量(約)	1.2kg(バッテリーパックを含む)	
製品寸法(約)	幅305×奥行36×高さ180mm 幅305×奥行99×高さ210mm(充電台使用時)	
スピーカー	Φ40mmx2	
画面サイズ	10.1V型(横223×縦125mm)	
駆動方式	TFTアクティブマトリックス駆動方式	
画素数	横1024×縦600*[3]	
実用最大出力	500mW+500mW	
使用温度範囲	5℃～35℃	
保存温度範囲	−10℃～50℃	
連続使用時間(約)(新品のバッテリーパックで、満充電で使用)*[2]	テレビ受信時　5時間	
充電時間	最大6時間	
接続端子	ヘッドホン端子(Φ3.5mmステレオミニジャック)	
	外部電源端子(DC9V JEITA統一規格電圧区分3)	

チューナー

• 防水構造ではありません。

電源	専用ACアダプター(付属・チューナー用)、AC100V、50/60Hz
製品質量(約)	420g
製品寸法(約)	幅225×奥行160×高さ35mm(水平設置時)
使用温度範囲	5℃～35℃
保存温度範囲	-10℃～50℃
消費電力	通信時:約4.8W、待機時:約3.2W
受信放送	ISDB-T(ARIB TR-B14)
受信チャンネル	UHF 13～62、CATV C13～C63
ワイヤレス仕様	IEEE 802.11 n、2.4GHz
アンテナ入力端子	F型接栓

充電台

・防水構造ではありません。

電　源	専用ACアダプターVD-CH38 (付属・防水モニター用) AC100V　50/60Hz
製品質量(約)	185g
製品寸法(約)	幅125×奥行99×高さ100mm

付属品

・防水構造ではありません。

リモコン	防水仕様	JIS IPX7相当＊1
	使用電源	単4形電池　2本
	製品質量(約)	85g(電池含まず)
	製品寸法(約)	幅50×厚さ22×高さ150mm
ACアダプター VD-CH38 USL124-1220	定格入力	AC100V　50/60Hz
	定格出力	防水モニター用VD-CH38：DC9V、1.5A チューナー用USL124-1220：DC12V、1.5A
	コード長	約1.8m
チューナー縦置きスタンド・リモコン用単4形マンガン乾電池(2本)・アンテナケーブル (約1.8m)・mini B-CASカード		
取扱説明書 (保証書付)・かんたんガイド		

＊1 定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの。

＊2 使用時間は周囲温度20℃で連続動作させた場合の目安です。使用状況（音量、明るさ等）や周囲温度により変動します。バッテリーパックは使用と充電を繰り返すと使用時間が短くなります。

＊3 液晶パネルは非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますのであらかじめご了承ください。

●この製品は、日本国内用に設計・販売されています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や製品販売などのアフターサービスも対象外となります。

●仕様、外観などは改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

防水ワイヤレステレビ　保証書

<table>
<tr><td>形名</td><td>VW-J108</td><td>※お買い上げ日
年　月　日</td><td>保証期間
お買い上げ日より本体1年
（ただし、バッテリーパックは除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td>ご住所</td><td colspan="2">〒　☎　様方</td></tr>
<tr><td>フリガナ
ご芳名</td><td colspan="2">様</td></tr>
<tr><td>※販売店</td><td>住所
店名</td><td colspan="2">〒
☎</td></tr>
</table>

※印欄にご記入のない場合有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にしたがって正しいご使用のもとで故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間内に故障が発生したときは、本書と製品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- (1)誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障及び損傷。
- (2)お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障および損傷。
- (3)火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）で生じた故障および損傷。
- (4)本書のご提示がない場合。
- (5)本書に、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- (6)一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
- (7)ご使用によるキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
- (8)消耗部品の交換。

2.出張修理をご依頼の場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3.本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5.ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様サービス係」へ、ご相談ください。

修理メモ

- お客様にご記入いただいた保証書（個人情報）は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」に、お問い合わせください。

TWINBIRD　ツインバード工業株式会社
〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2

修理サービスに関するお問い合わせ「お客様サービス係」
(フリーダイヤル)0120－337－455　FAX(0256)93－1077
お電話承り時間：平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
ホームページアドレス　http://www.twinbird.jp

TeX1211B

PDF版

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。

2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。

3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。
またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはＷｅｂ上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。